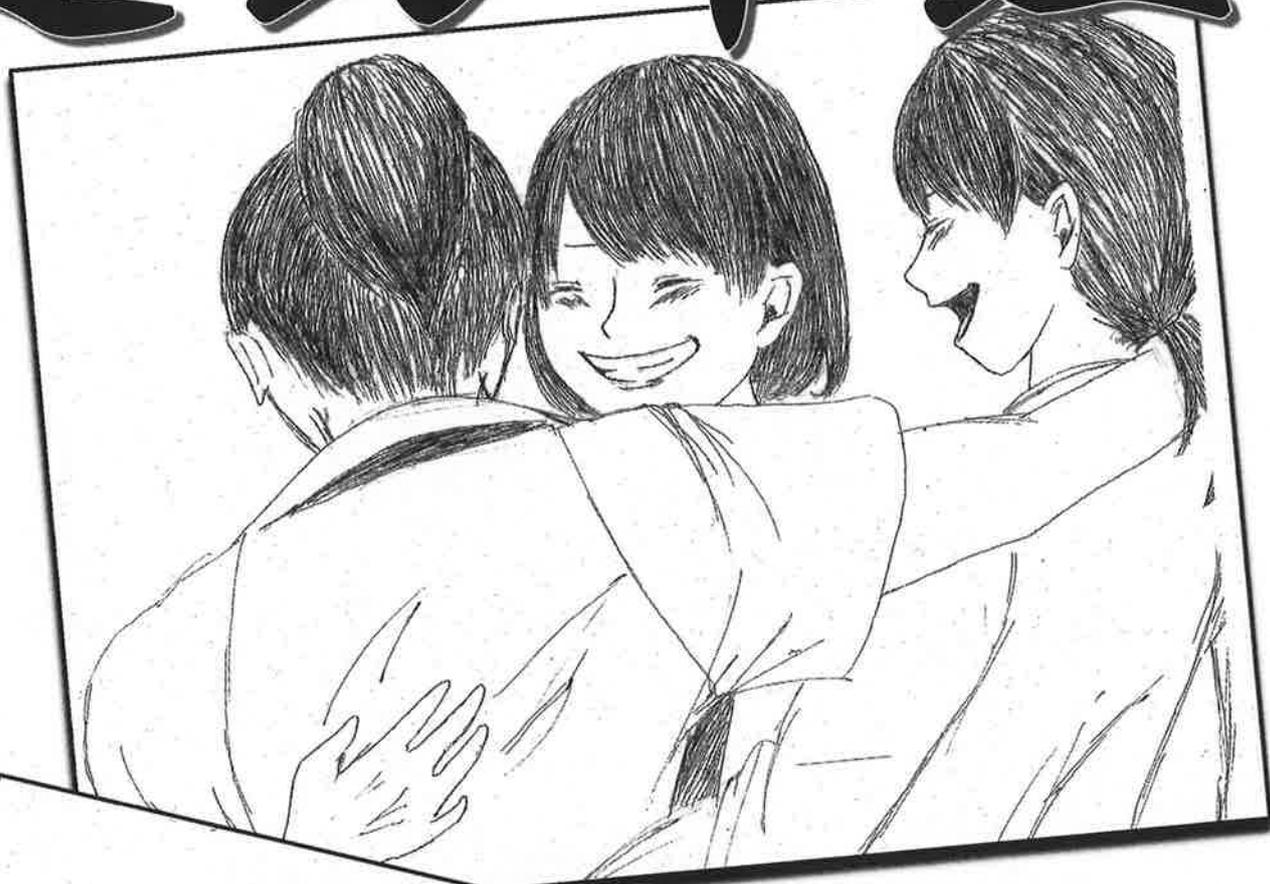


平成30年度

# 運動年鑑



小笠中学校体育連盟

# 目 次

はじめに	小笠中体連会長 大倉 浩	2
平成30年度を振り返って	理事長 春田 基行	3
小笠中学校体育連盟規約		4
小笠中学校体育連盟表彰規定		6
小笠中学校体育連盟申し合わせ事項		8
平成30年度 小笠中学校体育連盟 役員一覧表		9
平成30年度年 小笠中学校体育連盟 部活動顧問一覧表		10
平成30年度 小笠中学校体育連盟 競技別大会予定表		11
小笠中学校陸上競技大会記録		12
小笠中学校水泳競技大会記録		13
平成30年度 小笠中学校総合体育大会 総合杯 結果		14
平成30年度 小笠中学校総合体育大会 総合杯 得点表		15
平成30年度 小笠中学校総合体育大会 グッドマナー賞		16
平成30年度 生徒奨励賞・顧問功労賞一覧		17
平成30年度 小笠中学校新人総合体育大会 結果		19
バレーボール (男女)		20
卓 球 (男女)		26
柔 道		29
陸上競技		30
バスケットボール (男女)		32
サッカー		36
ソフトボール		38
軟式野球		41
ソフトテニス (男女)		44
剣 道		50
水 泳		53
小笠中学校体育連盟 歴代役員一覧表		57
小笠中学校総合体育大会 年度別優勝校一覧表		58

表紙絵 (菊川市立岳洋中学校 3年 赤堀志緒莉)

裏表紙絵 (菊川市立岳洋中学校 1年 赤堀花唯梨)

## はじめに

平成 30 年度も「感動ある大会にしよう」のスローガンのもと、すばらしい小笠中学校総合体育大会、新人総合体育大会を開催することができました。どの競技の会場においても、生徒や保護者のみなさんの熱心な応援を受けて、選手が一生懸命プレイする姿が見られました。また、参加生徒の会場使用におけるマナーや関係の方々への挨拶なども大変よかったと聞いています。そして、激戦を勝ち抜いて県大会に出場したチームは、小笠地区の代表として持てる力を出し切ってくれました。バレーボール、卓球、バスケットボール、ソフトボール、ソフトテニス、剣道、バドミントンで小笠の代表となった学校が、団体で 8 位以内の入賞を果たしました。また、個人では陸上競技、柔道、水泳、バドミントンで 8 位以内の入賞が数多くありました。ここからさらに、東海大会出場を果たしたチームや個人、陸上競技では全国大会出場を果たした生徒もいました。おめでとうございます。また、小笠地区大会から県、東海、全国大会まで指導、大会運営で力を尽くしてくださった先生方、役員、協会の皆様に感謝を申し上げます。

今年度は、教育界でも働き方改革が叫ばれ、小笠三市で「部活動ガイドライン」が策定されました。顧問、副顧問の先生方の負担を減らしながら、短い練習で効率的に成果を上げ、大会に臨むことが求められます。今後、教育効果の高い効率的な部活動指導を意識し、試行錯誤することが大切であると考えます。

また、生徒数の減少で、各競技人口も極端に減っている競技があります。特に水泳、剣道、柔道などの個人競技で顕著な影響が出ていると感じました。ただ、各競技の連盟の方々や保護者、地域のみなさんや高校生の御協力によって大会を盛り上げていただいております。これは大変ありがたいことです。今後、さらに地域の部活動としての意識が必要になってくると考えられます。これは、大会参加人数を満たしている団体競技の部においても言えることだと思えます。競技力向上だけでなく、部として地域の行事や活動に参加したり、ボランティア活動を行ったりしているところもあると聞きます。また、年代の違う方々との交流によって、技術を高めるとともに精神的な成長を図ったり、競技人口拡大に貢献したりするということも考えられます。競技力向上と大会出場以外の面でも、それぞれ学校の実態に応じた活動を行うなどこれからの部活動のあり方について、考えていきたいと思えます。今後も御協力をお願いします。

平成31年 1 月 15 日

小笠中学校体育連盟  
会 長 大 倉 浩

## 平成 30 年度を振り返って

平成最後となる 1 つの節目の年度となりましたが、小笠中学校体育連盟は、新会長に大倉浩校長先生を迎え、多くの成果を残すことができました。また、今年度の全事業を無事に終了することができました。各校顧問をはじめ、競技別会長、各競技部長、理事、養護教諭の先生方など多くの皆様の御尽力のおかげであります。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、今年度の小笠総合体育大会は 6 月 23 日の水泳を皮切りに、7 月 31 日の陸上競技大会まで大きな事故や問題もなく大会が開催され、全競技において全力を発揮した勝負や最後まで諦めないプレーで見る者に大きな感動を与え、熱戦を繰り広げてくれました。その結果、男子の部では、陸上競技、野球、ソフトテニスの 3 競技を制覇した掛川北中が 3 年ぶり 2 回目の総合杯を手にし、女子の部では、同じくソフトボール、ソフトテニス、剣道の 3 競技を制覇した浜岡中が 5 年ぶり 3 回目の総合杯に輝きました。

団体競技では、御前崎中学校女子バレーボール部や大浜中学校女子卓球部、浜岡中学校ソフトボール部、常葉大学附属菊川中学校バドミントン部が県大会を勝ち抜き東海大会に駒を進めました。中でも卓球の東海大会出場は小笠地区の卓球部への励みや刺激になったことと思います。個人競技においても生徒奨励賞の頁に記載してありますが、数多くの選手が東海、全国へと出場することができました。

競技の反省では、選手や応援マナーの向上が報告され、グッドマナー賞の候補も多く上がりました。競技力だけでなく、人間性を育むためのバランスのとれた運営と指導の賜だと思えます。先生方の御努力に重ねて感謝いたします。

運営面では、今年の漢字が「災」に決定したように、全国各地で地震や豪雨などの自然災害による被害や影響を受け、中体連の上位大会も例外ではありませんでした。小笠支部大会では、幸い順調に大会を実施することができましたが、新人戦では台風による影響で陸上競技を中止としました。さらに、近年の猛暑による熱中症が年々危惧されるようになり、数年前から救護担当とより連携を図ってきました。これらのことから、様々な不足の事態に備えた危機管理意識の高揚やソフト・ハード面の対策も事務局で進めているところです。

昨年度末、スポーツ庁からは「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」が示され、今年度、本県及び各市教育委員会による部活動ガイドラインも公表されました。また、これまでの外部指導者（コーチ）に加え、新たに「部活動指導員」が学校教育法に新たに規定されました。このように転換期、変革期を迎えている運動部活動ですが、その意義や価値は多くの人々が認めるところであります。自分の新たな可能性を見出し、夢や目標をもち、自らを鍛え挑戦していくことができるなど貴重な場となっています。来年度はラグビーワールドカップが本県でも開催され、エコパスタジアムなど例年通りの会場で実施できない競技もありますが、小笠の結束力で対応しながら、今後も小笠の中学生が部活動やスポーツを通して輝くことができるようにより一層の充実を図っていきたいと思えます。

最後になりましたが、掛川市、菊川市、御前崎市など各市において公共施設を優先的に使用させていただきました。恵まれた環境の中で大会を盛大に開催できたことを深く感謝申し上げます。

平成 31 年 1 月 15 日

小笠中学校体育連盟  
理事長 春田 基行

# 小笠中学校体育連盟規約

## 第1章 総則

- (名称)  
第1条 本連盟は、小笠中学校体育連盟という。
- (事務局)  
第2条 本連盟は、原則として事務局を会長の指定する学校におく。
- (目的)  
第3条 本連盟は、小笠中学校体育の健全な発展を図ることを目的とする。
- (事業)  
第4条 本連盟は、前条の目的を達成するために下記の事業を行なう。  
(1) 各種大会の開催、および講習会、研修会の開催  
(2) 資料の収集、調査研究  
(3) その他本連盟の目的達成に必要な事業

## 第2章 組織

- (組織)  
第5条 本連盟は、掛川市・菊川市・御前崎市・御前崎市牧之原市の中学校及び常葉大学附属菊川中学校が加盟してこれを組織する。

## 第3章 役員

- (役員の種類及び選任)  
第6条 本連盟は、次の役員をおく。  
(1) 会長 1名  
(2) 副会長 若干名  
(3) 理事 若干名  
(4) 副理事長 (庶務) 1名  
(5) 南支部主任  
(6) 北支部主任  
(7) 北理事  
(8) 編集委員 若干名  
(9) 研修委員 若干名  
(10) 会計 2名  
(11) 監査 2名  
(12) 運動年鑑編集委員長 1名  
2 正副会長、副理事長、副校長、校長、教頭、会計、運動年鑑編集委員長は理事会で選任し、会長が委嘱する。  
3  
4 南支部主任は、南支部の理事の推薦による。御前崎市、御前崎市牧之原市の各中学校と  
5 常葉大と附属は、理事、副理事長、副校長、校長、会計、編集委員長、南北主任等で構成し、会長  
6 が編集委員を委嘱する。  
7 8 9 研修委員は、理事会で選出し、会長が委嘱する。  
10 監査委員は、校長より1名、教員より1名とし、理事会で選出する。  
11 顧問は、顧問をおくことのできる。顧問は理事会の推薦による。  
(役員)  
第7条 役員は、次のとおりとする。会務一切を統領する。  
(1) 会長は、本連盟を代表し、会務一切を統領する。事故あるときは、その  
(2) 副会長は、会長を補佐して会務を掌理し、会長に事故あるときは、その  
(3) 理事長、副理事長は会長の指示を受けて、会務一切の立案と処理にあたる。  
(4) 理事は理事会を構成し、組織し、事業その他重要な事項について審議する。  
(5) 会計は、本連盟の会計事務を行う。監査する。  
(6) 監査は、本連盟の時本連盟の事務を監査する。  
(7) 運動年鑑編集委員は、運動年鑑編集において立案と処理にあたる。  
(8) 顧問は、会長に諮問に際して、重要事項に関し建議する。

- (役員任期)  
第8条 役員任期は1ヶ年とする。但し再任を妨げない。補欠役員の任期は前任者の残留期間とする。



# 小笠中学校体育連盟表彰規定

## 1 総合体育大会の表彰

野球・ソフト・バスケット・バレー・テニス・サッカー・卓球・剣道・柔道 について

### (1) 団体表彰

- ア 1位チームに優勝旗、カップ、トロフィーのいずれかを与える。
- イ 準優勝チームに楯、カップ、トロフィーのいずれかを与える。(柔道は除く)
- ウ 1位から3位まで、チーム賞状(合同チームには学校数分)と個人賞状を与える。(1位にはメダルも与える)個人賞状の数は、部ごとに次のように定める。

野球25人・ソフト25人・バスケット15人・バレー18人  
ソフトテニス8人・サッカー30人・卓球10人・剣道7人・柔道7人

- エ 県大会出場のために順位決定戦を行っても、両チームとも3位とする。
- オ 出場総参加チームが5チーム以上の場合、上記の規定通りとする。  
4チームの場合は、2位までを該当とする。  
3チームの場合は、1位だけを該当とする。  
これは、新人戦も同様とする。

カ 大会前に団体としてエントリーすれば、総合杯得点に加点する。

### (2) 個人戦表彰

- ア 1位から6位まで賞状を与える。(1位にはメダルも与える。一人が複数種目において優勝した場合は1個限りとする。事情により1個800円で購入は可)
- イ 県大会出場順位の3位決定戦を行っても、両者とも3位とする。
- ウ 県大会への出場権を得ても、勝利していない場合や試合をしていない場合は、1位から3位までの賞状は与えない。そのかわりに激励賞を与える。
- エ 県大会出場権を得た者で、3位以内に入れなかった者には激励賞を与える。

陸上・水泳について

### (1) 団体(総合)表彰

- ア 男女総合1位校に優勝旗、カップ、トロフィーのいずれかを与える。
- イ 男子総合と女子総合の1位校に優勝旗、カップ、トロフィーのいずれかを与える。
- ウ 男女総合、男子総合、女子総合のそれぞれ1位から3位校に、賞状を与える。

### (2) 個人表彰

- ア 1位から6位には、個人賞状を与える。リレーは4人に与える。(ただし、出場人数が10名以下の場合は3位までとする。3名以下の場合は1位のみとする。)
- イ 優勝者には、メダルを与える。(リレーは4人に与える。1位にはメダルも与える。一人が複数種目において優勝した場合は1個限りとする。)
- ウ 新記録を出した場合は、記録賞を与える。

## 2 新人総合体育大会の表彰

南部、北部別の大会をもって小笠地区の新人戦とする。(ただし、陸上、剣道、水泳については南北合同開催とする。)南部、北部でどちらかが、2チームになってしまった場合においては南北合同で開催する。3チーム以下の団体表彰は1位のみ行う。

野球・ソフト・バスケット・バレー・テニス・サッカー・卓球 について

### (1) 団体表彰

- ア 南部、北部各1位チームに優勝旗、カップ、トロフィーのいずれかを与える。
- イ 1位から3位まで、チーム賞状(合同チームには学校数分)を与える。(但し3位について未勝利のチームには賞状を与えない)個人賞状は優勝チームだけに与え、人数は総体の人数に準じる。

### (2) 個人戦表彰

- 1位から3位まで賞状を与える。

陸上・水泳について

### (1) 団体(総合)表彰

- ア 男子総合と女子総合の1位校に優勝旗、カップ、トロフィーのいずれかを与える。
- イ 男子総合、女子総合の1位から3位までに賞状を与える。
- ウ 水泳はリレー種目に出場すれば団体とする。

### (2) 個人表彰

- ア 1位から3位には、個人賞状を与える。リレーは4人に与える。(ただし、出場人数が3名以下の場合は1位のみとする。)
- イ 新記録を出した場合は、記録賞を与える。

### 3 顧問功労賞等の表彰

#### (1) 顧問功労賞

- ア 総体で団体（総合）優勝した場合  
・大会表彰時に授与する。合同チームは監督に与えることを基本とする。
- イ 県大会で8位以内に入った場合
- ウ 東海、全国大会に出場した場合  
・該当の大会は総体とし、新人戦は含まない。上位大会についても、中体連の大会（通信陸上を含む）を原則とする。  
・各種競技団体が開催する大会は、全国大会に出場した場合、理事会で検討する。

#### (2) 部長功労賞

- ア 3年以上競技部長を務めた部長を表彰する。表彰はその任を退いた時とする。
- イ 顧問者会の際に表彰する。
- ウ 県、西部部長の場合には特別表彰もある。

#### (3) 県大会以上の優勝顧問功労賞

- ア 県大会以上の優勝顧問に対して表彰する。
- イ 顧問者会の際に表彰する。

### 4 小笠中学校総合杯の表彰

- (1) 男子の部、女子の部を設け、小笠中学校総合体育大会において上位の3校を表彰する。1位に賞状と優勝杯を、2位と3位に賞状を授与する。
- (2) 部活動として日常的に活動している学校が2校以下の競技と、合同チームは得点の対象としない。
- (3) 入賞得点  
各競技ごとに、1位に5点、2位に3点、3位に2点（3位が2校の時には各1点）を与える。ただし、出場校が小笠地区の半数以下の競技については、1位は3点、2位は2点とする。
- (4) 入賞競技は団体競技のみとする。
- (5) 入賞得点が同点の場合は次の通りとする。（合同チームの結果は除く）
  - ア 優勝した競技数の多い学校を上位とする。
  - イ さらに同点の場合には、2位の競技数の多い順とし、それでも決しない場合は3位の競技数の多い順の学校とする。
  - ウ さらに同点の場合には、県大会への出場数の多い学校を上位とする。
  - エ それでも決しない場合には、男女別の運動部加入人数の少ない学校を上位とする。
- (6) 表彰は陸上大会の際に行う。
- (7) 優勝杯は持ち回りとする。

### 5 特別賞(グッドマナー賞)の表彰

中体連の精神である「スポーツを通して健全な中学生の育成」というねらいから、小笠中学校総合体育大会の取り組みに対し、中学生らしい態度で臨んだ団体（戦績は関係しない）、グループ、あるいは個人を賞揚する。（善行賞とは異なる）

- (1) 各競技部（男女別）から推薦された個人または1グループ、1団体とし、要項に明記する。
- (2) 選考基準は、中体連の申し合わせ事項を考慮し、各競技の特性を十分生かす内容とする。
- (3) 総合杯とは別とする。
- (4) 9月の理事部長会で承認し、該当校に賞状を渡す。その年によって、個人あるいはグループ、団体となってもかまわない。
- (5) 各競技男女別に特別賞選考委員会（部長、副部長、強化対策委員等）を設置し、選考する（必ず各競技部顧問の承認の上、該当校理事にも連絡を取る）。
- (6) 合同チームも対象とし、賞状は学校数分与える。
- (7) 該当者がいない場合もありうる。

#### 【補足】

- (1) 各校の日頃の様子を加味し、まず該当校顧問が受賞するにふさわしいか判断する。顧問が受賞するにふさわしくないとされる場合、競技部内の推薦からはずす。
- (2) 各校の理事が校内の日頃の努力や他の部活との比較から、辞退する場合もあり得る。
- (3) 9月の理事部長会で各部から推薦された部が、グッドマナー賞の趣旨、目的にふさわしいか検討し、決定する。

※本表彰規定は、昭和63年 4月15日より施行する。

平成6年	4月18日	一部修正	平成19年	3月2日	総合杯得点競技となる基準改定
平成8年	4月11日	総合杯規定作成	平成23年	4月11日	総合杯入賞種目の基準改定
平成10年	4月10日	新人戦規定改正	平成24年	4月9日	陸上・水泳における個人表彰規定の改定
平成11年	4月9日	新人戦規定改正	平成25年	4月8日	団体表彰規定改正
平成12年	6月5日	個人表彰規定改正	平成27年	4月9日	一部修正
平成14年	6月10日	一部修正	平成28年	4月12日	一部修正
平成15年	11月4日	総合杯順位決定の追加	平成28年	5月30日	一部修正
平成16年	6月7日	総合杯決定手順追加・新人戦規定改定	平成29年	4月12日	レプリカ贈呈を削除
平成17年	4月8日	生徒奨励賞・顧問功労賞基準改正			
平成17年	6月6日	総合杯・グッドマナー賞における合同チームの規定、賞状の数の追加			

## 静岡県中学校体育連盟スローガン

### — 感動ある大会にしよう —

1. 「挑 戦」 自らが持てる力を出し尽くし、最後まであきらめることなくプレーしよう。
2. 「友 愛」 友情の輪を広げ、互いの健闘を認め合う温かさを持とう。
3. 「自 立」 ルールやマナーを守り、さわやかさの残る大会にしよう。

## 小笠中学校体育連盟申し合せ事項 (生徒用)

- 1 「基 本」 静岡県中学校体育連盟のスローガンをよく理解し、実践します。
- 2 「心 得」 常に中学生としての自覚を持ち、スポーツマンらしい行動をします。
- 3 「競 技 場」 競技場や控室は、すべて心身を鍛えるところであるという自覚を持ち、スポーツマンシップを発揮し、自己の向上につとめ、使用後の片づけも確実にを行います。  
体育館へのアイスボックスやおしぼり等の持ちこみには十分注意し、床（フローア）を大切にします。
- 4 「服装など」 シャツのすそをズボンやパンツの中に入れ、乱れた服装でプレーしたり応援したりしないよう、常に正しい服装をします。靴下についても競技にふさわしいものにします。また、学校への持ち込みが禁止されている不要物は持っていきません。  
競技を見学する時は、保護者とともに見学します。服装は、自校の制服か体操服（自校の部活動で許可されている服装）で見学します。
- 5 「飲 食 物」 練習試合を含めて競技会に出場する時は、弁当と水筒を持参し、ゴミは必ず持ち帰ります。菓子やジュース類は絶対に持っていきません。また、会場や移動途中で、菓子やジュース類の買い喰いはしません。  
自己の健康管理に心掛け、常にベストコンディションで競技することがスポーツマンには大切であることを実践します。
- 6 「競技規定」 競技会でのベンチに入る人数等は、大会規定をしっかりと守ります。

平成30年度 小笠中学校体育連盟 役員一覧表

役職名	氏名	勤務校	役職名	氏名	勤務校
会長	大倉 浩	浜 岡	理事	三浦 浩二	原野谷
副会長	山田 正彦	菊川東	"	伊藤 拓史	桜が丘
"	古地 隆	菊川西	"	佐々木寛明	掛川北
理事長	春田 基行	御前崎	"	熊膳 佳美	掛川西
副理事長	青島 直道	掛川東	"	青島 直道	掛川東
会計(本部)	岡本 健志	大 浜	"	吉田 順平	栄 川
会計(事業費)	伊藤 拓史	桜が丘	"	湯山 珠沙	城 東
運動年鑑編集委員長	青嶋 翔太	岳 洋	"	岡本 健志	大 浜
南部主任	鈴木 達	菊川東	"	原田 剛	大須賀
北部主任	吉田 順平	栄 川	"	中村 茉由	常葉菊川
新体力テスト委員長	吉田 順平	栄 川	"	松浦 芳志	菊川西
ホームページ	青嶋 翔太	岳 洋	"	鈴木 達	菊川東
会計監査	匂坂 弘	大須賀	"	青嶋 翔太	岳 洋
"	齊藤 竹世	岳 洋	"	小野 芳彦	浜 岡
			"	春田 基行	御前崎

競技名	部長氏名	勤務校	副部長氏名	勤務校
バレー	中山 航	掛川北	加藤 啓太 酒井 史貴	掛川北 御前崎
卓球	加茂 将昭	掛川東	池ヶ谷将彦 岡田 圭介 榛葉 恵理	大 浜 菊川西 掛川西
柔道	水嶋 志展	浜 岡		
陸上	小林 大晃	菊川西	鈴木 達	菊川東
バスケット	井浪 貴斗	掛川西	増田 陽一 大杉 鏡康 池田 佳将 山岡 文彦	掛川北 大 浜 掛川東 浜 岡
サッカー	糸田 翼	掛川東	萩田 駿 中山 慶介	掛川北 浜 岡
ソフト	鈴木 峻輔	桜が丘	大石 北斗 水元 湧士	掛川西 浜 岡
野球	平野 公一	御前崎	吉田 順平 飯田 好洋 杉山 優	栄 川 掛川北 浜 岡
ソフトテニス	大倉佑太郎	掛川西	曾根 隆央 松下 浩人 山本 高裕 伊達 千尋	掛川東 菊川東 原野谷 浜 岡
剣道	大石 英明	浜 岡	高橋季実子	大 浜
水泳	熊膳 佳美	掛川西	杉山 晃弘	掛川東





# 小笠中学校陸上競技大会記録

(平成30年度 第72回大会まで)

種 目		氏 名	校 名	記 録	大会
男	100メートル	縣 利至 馬場 貴士	岳 洋 掛川北	11"08	46 56
	200メートル	村松 匡哲	掛川西	22"82	54
	400メートル	横山 直広	掛川西	52"22	62
	800メートル	杉村 直柔	掛川北	2'01"75	66
	1500メートル	眞田 翼	桜が丘	4'19"29	67
	3000メートル	進士 和樹	菊川東	9'20"53	48
	110メートルH	神田 就太	掛川西	14"91	64
	低400メートルR	菊川西中		47"69	72
	共400メートルR	浜岡中		45"09	64
	高800メートルR	掛川北中		1'35"90	54
子	走 幅 跳	村上 豪 原 巧	岳 洋 御前崎	6.65m 6.65m	66 70
	走 高 跳	高塚 佳成	掛川北	1.86m	42
	棒 高 跳	松浦 勝久	掛川北	4.10m	46
	三 段 跳	岡本 和也	菊川西	12.50m	24
	砲丸投げ	袴田 康信 塩見 隆夫	掛川北 岳 洋	14.23m 12.26m	41 64
		山本 記子	桜が丘	12"59	72
女	100メートル	渡邊 瑛里	掛川西	26"26	66
	800メートル	中島 葵	菊川西	2'17"97	64
	1500メートル	中島 葵	菊川西	4'43"27	64
	100メートルH	松下 里帆	菊川西	14"93	71
	低400メートルR	菊川西中		52"29	70
	共400メートルR	菊川西中A		50"64	71
	走 幅 跳	有海 朱音	菊川西	5.42m	66
	走 高 跳	岩崎 真弓	城 東	1.65m	37
	砲丸投げ	大橋 恵子	大須賀	12.69m	34

## オープン種目大会記録 (第35回より)

種 目		氏 名	校 名	記 録	大会
1	男	原 巧	御前崎	12"14	68
2	男	赤堀 眞	岳 洋	11"40	71
1	男	武田 悠佑	浜 岡	4'37"01	72
2	男	眞田 翼	桜が丘	4'24"42	66
1	女	木村 美結	掛川西	13"03	72
2	女	丹羽 花香	菊川西	12"73	71
1	女	中島 葵	菊川西	2'27"49	62
2	女	中島 葵	菊川西	2'20"84	63
1	男	村上 了太	岳 洋	5.39m	61
2	男	村上 了太	岳 洋	6.06m	62
1	女	有海 朱音	菊川西	4.90m	65
2	女	有海 朱音	菊川西	5.42m	66

# 小笠中学校水泳競技大会記録

(平成30年度 第61回大会まで)

	種 目	氏 名	校 名	記 録	大会	
男	50m自由形	小林 亮	掛川東	25"93	2016	
	100m自由形	松村希良軌	掛川東	54"93	2016	
	200m自由形	松村希良軌	掛川東	1'59"63	2016	
	400m自由形	田島 冬野	菊川西	4'27"25	2014	
	1500m自由形	山下 陣	岳 洋	17'32"92	2009	
	100m平泳ぎ	小林 亮	掛川東	1'10"61	2016	
	200m平泳ぎ	鈴木 雄太	掛川東	2'34"04	1998	
	100m背泳	黒田 雄太	岳 洋	1'06"01	2010	
	200m背泳	黒田 雄太	岳 洋	2'21"02	2010	
	100mバタフライ	荻田 遼介	大 浜	1'00"75	2006	
	200mバタフライ	荻田 遼介	大 浜	2'16"73	2006	
	子	200m個人メドレー	黒田 景太	岳 洋	2'18"74	2010
		400m個人メドレー	黒田 景太	岳 洋	4'52"58	2010
		400mメドレーリレー	掛川東中		4'36"00	2016
		400mリレー	掛川東中		4'09"82	2016
		800mリレー	菊川西中		11'50"50	1991
女		50m自由形	寺下 凜	掛川東	28"95	2017
	100m自由形	金子 春香	桜が丘	1'00"67	2008	
	200m自由形	金子 春香	桜が丘	2'12"57	2008	
	400m自由形	清水 千尋	浜 岡	4'40"46	1998	
	800m自由形	大橋 保南	岳 洋	9'31"90	2005	
	100m平泳ぎ	澤崎 琉奈	菊川東	1'18"00	2014	
	200m平泳ぎ	澤崎 琉奈	菊川東	2'48"19	2014	
	100m背泳	松浦 可苗	栄 川	1'09"49	2013	
	200m背泳	松浦 可苗	栄 川	2'25"62	2013	
	100mバタフライ	松下 紋華	大須賀	1'08"01	2008	
	200mバタフライ	杉山 多英	桜が丘	2'27"75	2014	
	子	200m個人メドレー	下嶋菜々恵	岳 洋	2'27"51	2012
		400m個人メドレー	下嶋菜々恵	岳 洋	5'11"97	2012
		400mメドレーリレー	岳洋中		4'53"40	2009
		400mリレー	浜岡中		4'25"38	1998

※36回大会より、男女の50m自由形が正式種目になった。

# 平成30年度 小笠中学校総合体育大会 総合杯 結果

種目	男子			女子		
	優勝	準優勝	3位	優勝	準優勝	3位
1 バレー	浜岡	掛川東	大浜 菊川西	御前崎	岳洋	大浜 桜が丘
2 卓球	桜が丘	掛川東	菊川西 掛川西	大浜	菊川西	掛川西 掛川東
3 陸上	掛川北	浜岡	菊川西	菊川西	掛川東	掛川西
4 バスケット	大浜	菊川西	御前崎 掛川東	御前崎	浜岡	菊川西 常葉菊川
5 サッカー	御前崎	掛川西	桜が丘 掛川東			
6 ソフト				浜岡	掛川西	菊川西 原野谷
7 野球	掛川北	掛川東	岳洋 掛川西			
8 ソフトテニス	掛川北	菊川西	掛川西 岳洋	浜岡	掛川西	岳洋 菊川東
9 剣道	大須賀	御前崎	大浜	浜岡	菊川西	岳洋

## 総合杯 歴代の結果

	男子						女子					
	1位	点	2位	点	3位	点	1位	点	2位	点	3位	点
平成8年度	浜岡	20	掛川北	12	掛川東	12	浜岡	15	掛川東	11	掛川西	9
平成9年度	浜岡	16	掛川西	14	大浜	8	掛川北	17	岳洋	13	原野谷	8
平成10年度	掛川西	17	大須賀	11	浜岡	9	掛川東	15	掛川西	13	岳洋	11
平成12年度	掛川西	15	浜岡	14	掛川北	9	掛川北	16	浜岡	15	掛川西	13
平成13年度	掛川西	12	浜岡	11	掛川北	11	掛川北	18	掛川東	15	掛川西	12
平成14年度	浜岡	15	掛川西	12	掛川北	10	掛川西	14	掛川東	14	掛川北	12
平成15年度	浜岡		城東	13	大須賀	10	掛川東	13	掛川北・掛川西・原野谷			9
平成16年度	桜が丘	11	大須賀	10	掛川西	10	掛川西	15	掛川北	13	大須賀	8
平成17年度	掛川西	18	掛川東	15	浜岡	8	原野谷	13	常葉菊川	10	掛川西	10
平成18年度	掛川西	22	掛川北	10	菊川西	8	菊川東	10	掛川西	9	大浜	7
平成19年度	掛川東	18	掛川西	13	御前崎	11	掛川西	17	菊川西	8	掛川北	8
平成20年度	掛川西	15	掛川東	11	掛川北	10	掛川西	18	浜岡	12	大須賀	8
平成21年度	掛川西	21	浜岡	11	掛川東	10	掛川西	13	桜が丘	9	浜岡	8
平成22年度	掛川東	16	菊川西	13	掛川西	11	岳洋	13	掛川西	11	掛川北	10
平成23年度	菊川西	16	掛川北	14	掛川東	12	菊川西	15	浜岡	11	御前崎	9
平成24年度	掛川東	15	菊川西	12	掛川西	9	御前崎	9	桜が丘	9	掛川北	9
平成25年度	掛川西	18	掛川東	14	浜岡	10	浜岡	11	桜が丘	11	掛川東	9
平成26年度	浜岡	16	御前崎	11	桜が丘	11	掛川北	11	掛川西	10	御前崎	8
平成27年度	掛川北	12	菊川西	11	掛川西	10	掛川西	15	桜が丘	8	浜岡	7
平成28年度	掛川東	10	掛川北	9	御前崎	8	掛川西	13	菊川西	10	桜が丘	9
平成29年度	掛川西	12	掛川北	8	桜ヶ丘	8	菊川西	14	掛川西	10	御前崎	9
平成30年度	掛川北	15	掛川東	10	菊川西	9	浜岡	16	菊川西	12	御前崎	11

# 平成30年度 小笠中学校総合体育大会 総合杯 得点表

大会出場数 7 10 13 13 8 15 12 7

県出場枠	2	1	△	2	1	3	2	1	△	△	○は団体種目で県大会出場					
男子	バレー	卓球	陸上	バスケット	サッカー	野球	テニス	剣道	水泳	駅伝	得点合計	優勝数	準優勝数	三位数	県出場数	総合順位
原野谷											0					11
桜が丘		⑤			1						6	1		1	1	5
掛川北			5			⑤	⑤				15	2			2	1
掛川西		1			3	1	1				6		1	3		7
掛川東	②	3		1	1	③					10		3	2	2	2
栄川											0					11
城東											0					11
大浜				⑤							5	1			1	8
大須賀								③			3	1			1	9
常葉菊川											0					11
菊川西		1	2	③			③				9		2	1	2	3
菊川東											0					11
岳洋						①	1				2			2	1	10
浜岡	③		3								6	1			1	6
御前崎				1	⑤			2			8	1	1	1	1	4

大会出場数 14 11 14 12 8 12 5

県出場枠	2	2	△	2	*	4	2	1	△	△	○は団体種目で県大会出場					
女子	バレー	卓球	陸上	バスケット	***	ソフト	テニス	剣道	水泳	駅伝	得点合計	優勝数	準優勝数	三位数	県出場数	総合順位
原野谷						①					1			1	1	8
桜が丘	1										1			1		11
掛川北											0					12
掛川西		1	2			③	③				9		2	1	2	4
掛川東		1	3								4			1		6
栄川											0					12
城東											0					12
大浜	1	⑤									6	1		1	1	5
大須賀											0					12
常葉菊川				1							1			1		9
菊川西		③	5	1		①		2			12		2	2	2	2
菊川東							1				1			1		10
岳洋	3										3		1			7
浜岡				③		⑤	⑤	③			16	3	1		4	1
御前崎	⑤			⑤			1				11	2		1	2	3

## 平成30年度 小笠中学校総合体育大会 グッドマナー賞

種 目	該当校	選 出 理 由
男バレ	掛川西	1年間を通して、試合中だけでなく、試合以外の部分でも各チームの模範的な挨拶や行動ができた。
女バレ	掛川北 大 浜	1年間を通して、挨拶や行動が他のチームの模範となった。自校以外の会場の時も片づけ等を積極的に行っていた。
男卓球	掛川東	挨拶や態度、応援など率先して動くことができ、集団として見ていて気持ちの良い振る舞いであった。
女卓球	掛川西	会場準備などを積極的に手伝い、片付けも最後まで観客席の掃除を行っていた。特に応援が素晴らしかった。
柔 道	該当なし	浜岡中柔道部で準備片付けを行ったが、グッドマナー賞には当たらないと思うので該当なしとした。
陸 上	該当なし	どの学校も生徒の態度は素晴らしく大きな差は見られなかったため、競技部の総意をもって該当校なしとしました。
男バス	掛川北	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな試合展開でも全力でプレーしていた。</li> <li>・あいさつも練習の雰囲気も元気でさわやかであった。</li> <li>・プレー中もそれ以外でもマナーが良かった。</li> <li>・審判や役員への礼儀がとても良かった。</li> </ul>
女バス	掛川東	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生を中心に、大きな声で挨拶ができていた。</li> <li>・コート上でも、コート外でも、きびきびと行動することができていた。</li> <li>・誰に対しても明るい表情で接していたのが好印象だった。</li> <li>・審判にボールを手渡ししたり、お願いしますと言っていたりとマナーが良かった。</li> </ul>
サッカー	該当なし	昨年度同様、そのチームも挨拶がしっかりでき、礼儀やマナーを意識した行動ができていました。また、準備や片付けなどを率先して手伝う姿も見られ、特定の学校を選ぶことが難しいため該当なしとした。
ソフト	該当なし	どのチームも中学生らしくきびきびと動き、はつらつとプレーしており、優劣をつけたり、特定の学校を選ぶことが難しく該当なしとしました。
野 球	栄 川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな声であいさつができる</li> <li>・試合の準備などきびきびとした行動ができる</li> <li>・全力で前向きにプレーできる</li> </ul> <p>以上のことを少ない人数ではあるが全員が取り組み、野球の技術向上にもつなげていたことが大変すばらしいのでグッドマナー賞候補に推薦します。</p>
男テニ	該当なし	男女ともに運営校の名前が多数あがったが、運営協力とグッドマナーは別であると考慮除外した。どの学校もあいさつ、会場使用、観戦態度においてマナーが良く甲乙が付けがたいため該当校無しとする。
女テニ	該当なし	同上
剣 道	岳 洋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の指示や連絡に対する返事の声の大きさ。</li> <li>・どの先生にも気持ちの良いあいさつができる。</li> <li>・マナーを守り、全力で自チームを応援する姿勢。</li> <li>・自チームの結果が決まった後でも自チーム以外の応援も頑張っていた。</li> </ul>
水 泳	掛川西 掛川東	会場準備、当日の駐車場案内、当日の応援などの態度がよかった。

平成30年度 生徒奨励賞・顧問功労賞 一覧 No. 1

小笠中学校体育連盟

	生徒奨励賞				顧問功労賞				
	西部予選会 3位以内、県大会 8位以内 東海大会出場、全国大会出場				小笠総体 優勝顧問		左記以外で生徒奨励賞受賞者の顧問		
男バレー					浜岡	田崎守一			
女バレー	御前崎	県	3位		御前崎	酒井史貴	御前崎	酒井史貴	
	岳洋	東海	出場				岳洋	堀井潤	
男卓球					桜が丘	山本若奈			
女卓球	大浜	県	4位		大浜	池ヶ谷将彦	大浜	池ヶ谷将彦	
		東海	出場						
男柔道	貝塚立矢	(浜岡)	60kg級	県	5位	浜岡	水嶋志展	浜岡	水嶋志展
女柔道	佐藤舞花	(大浜)	40kg級	県	5位				
陸上(男)	松浦海瑠	(掛川北)							
		3年1500m	県	5位	4:14.58	掛川北	櫻井剛	掛川北	櫻井剛
		共通800m	県	8位	2:16.27				
		共通800m	東海	7位	2:05.26				
		高木大門・西澤梓希・山田孝喜・山内翔貴	(菊川西)				菊川西	小林大晃	
		低学年4×100mR	西部	1位	47.78				
		高木大門・西澤梓希・山田孝喜・松浦陸斗	(菊川西)						
		低学年4×100mR	県	5位	47.72	東海			
		西澤梓希	(菊川西)						
		4種競技	県	7位	1930点				
		高木大門	(菊川西)						
		2年100m	西部	3位	11.85				
		赤堀真	(岳洋)					岳洋	鈴木寿樹
	3年100m	県	5位	11.19					
		東海	出場						
	片桐海翔	(浜岡)					浜岡	小野芳彦	
	共通200m	県	7位	24.02					
	松本悠真	(掛川西)					掛川西	篠崎光	
	2年1500m	西部	3位	4:22.06					
陸上(女)	木村美結	(掛川西)							
		1年100m	西部	1位	13.05	掛川西	篠崎光		
			県	1位	12.41				
			東海	1位	12.52				
			全国	出場					
		児玉 粟	(掛川西)						
		共通砲丸投	県	5位	11m87				
		東海	出場						
	浅井昌美	(菊川西)				菊川西	小林大晃	菊川西	小林大晃
	4種競技	西部	2位	2283点					
		県	3位	2267点					
	山本記子	(桜が丘)							
	3年100m	県	5位	12.21					
		東海	7位	12.41					
		全国	出場						
	共通200m	西部	3位	26.14					
		県	6位	26.15					
		全国	出場						

平成30年度 生徒奨励賞・顧問功労賞 一覧 No. 2

小笠中学校体育連盟

	生徒奨励賞				顧問功労賞			
	西部予選会 3位以内、県大会 8位以内 東海大会出場、全国大会出場				小笠総体 優勝顧問		左記以外で生徒奨励賞受賞者の顧問	
男バスケ	大 浜	県	5位		大浜	大杉鏡康	大浜	大杉鏡康
女バスケ					御前崎	浦海俊次		
サッカー					御前崎	原田元信		
ソフト	浜 岡	県	2位		浜 岡	水元湧士	浜 岡	水元湧士
		東海	出場					
	掛川西	県	5位				掛川西	大石北斗
	菊川西	県	5位				菊川西	赤澤敏彦
野球					掛川北	鈴木駿志		
男テニス	菊川西	団体戦	県	5位	掛川北	古城輝海	菊川西	森下 尚
女テニス	浜岡	団体戦	県	5位				
	平原美結・長尾星来(浜岡)		県	7位	浜 岡	伊達千尋	浜 岡	伊達千尋
			東海	出場				
体操								
バドミントン	常葉菊川	団体戦	県	優勝				
			東海	出場				
	鈴木あかり・下谷祐香	(常葉菊川)						
		ダブルス	県	優勝				
		東海	出場					
秋山萌衣奈	(常葉菊川)						常葉菊川	渡邊友也
	シングルス	県	2位					
		東海	出場					
村松壱華	(常葉菊川)							
	シングルス	県	3位					
		東海	出場					
男剣道					大須賀	岡本裕之		
女剣道					浜 岡	大石英明		
水泳(男)	尾崎大輔	(掛川東)						
		100m平	県	8位	1:11.50	掛川西	熊膳佳美	掛川東
		100m平	東海	8位	1:10.27			
水泳(女)					掛川西	熊膳佳美		

# 平成30年度 小笠新人総合体育大会 結果

## 南部大会

種目	男子			女子		
	優勝	準優勝	3位	優勝	準優勝	3位
1 バレー	大浜	菊川西	浜岡	岳洋	御前崎	浜岡 大浜
2 卓球	御前崎	岳洋	菊川西	大浜	岳洋	菊川西
4 バスケット	浜岡	御前崎	菊川西	御前崎	大浜	菊川東
5 サッカー	御前崎	菊川東	***	***	***	***
6 ソフト	***	***	***	岳洋	菊川西	御前崎
7 野球	大須賀	浜岡	大浜 菊川西	***	***	***
8 ソフトテニス	菊川西	岳洋	菊川東	菊川東	浜岡	菊川西

## 北部大会

種目	男子			女子		
	優勝	準優勝	3位	優勝	準優勝	3位
1 バレー	掛川東	掛川北	掛川西	桜が丘	掛川北	栄川 掛川西
2 卓球	掛川西	掛川北	桜が丘	掛川西	桜が丘	掛川東
4 バスケット	掛川東	掛川西	桜が丘	掛川東	掛川西	***
5 サッカー	掛川西	桜が丘	***	***	***	***
6 ソフト	***	***	***	掛川西	掛川東	***
7 野球	桜が丘	掛川西	掛川東	***	***	***
8 ソフトテニス	掛川西	掛川北	掛川東	桜が丘	掛川北	掛川西

## 南北同時開催

種目	男子			女子		
	優勝	準優勝	3位	優勝	準優勝	3位
1 陸上	台風接近のため大会中止					
2 剣道	大須賀	大浜	菊川東	大浜	菊川西	***
3 水泳	掛川西	***	***	掛川西	***	***

# バレーボール

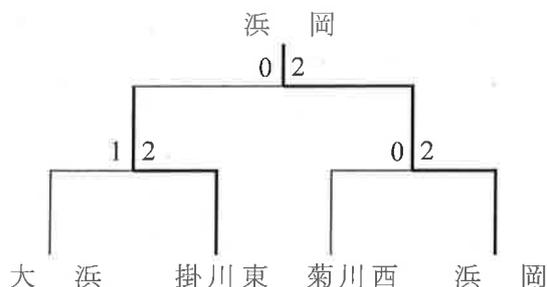
## 総合体育大会（男子）

<予選リーグ>

A	大浜	菊西	大須賀	順位
大浜		2-0	2-0	1
菊西	0-2		2-1	2
大須賀	0-2	1-2		3

B	掛東	浜岡	掛西	掛北	順位
掛東		0-2	2-0	2-0	2
浜岡	2-0		2-1	2-0	1
掛西	0-2	1-2		2-0	3
掛北	0-2	0-2	0-2		4

<決勝トーナメント>



大会結果 優勝 浜岡 準優勝 掛川東 3位 大浜、菊川西

### 大会寸評

掛川市立北中学校 加藤 啓太

本年度は、新人戦から夏の大会に至るまで、7校の実力が伯仲した一年間であった。本大会もフルセットや20点以降の緊迫した試合展開が多く、大混戦の様相を呈した。

優勝した浜岡中は、安定したサーブレシーブからの時間差攻撃を主体とした攻撃で点数を重ね、準優勝の掛川東中は、エースを中心としたセンター攻撃で得点をもぎ取るなど、それぞれのチームコンセプトを作り上げて戦ったチームが多く、大変見応えのある試合が数多くあった。

競技人口の減りつつある本競技において、今後はよりバレーボールの楽しさを伝えることができるよう、技術指導の一層の充実はもちろん、白熱した試合展開の中でも互いに気持ちよく戦うことができるマナー面の向上も目指していきたい。

### 優勝作文

御前崎市立浜岡中学校 榎林 来騎

僕たち浜岡中バレー部が中体連に向けて頑張ってきたことは、サーブとコンビネーションバレーです。サーブで相手のレシーブを崩すことによってチャンスボールをもらい、速いコンビネーションバレーで相手のブロックを外して攻撃することができました。

また、僕たちは声あまり出ないチームでした。だから声出しにも力を入れました。声を出して相手のチームのリズムを崩し、自分たちのリズムに変えることによって勝利をつかみ取ることができました。あとは、チームの一人一人の気持ちです。どんな相手でも絶対勝つという強い気持ちが勝利につながったと思います。

# 総合体育大会（女子）

## 予選リーグ

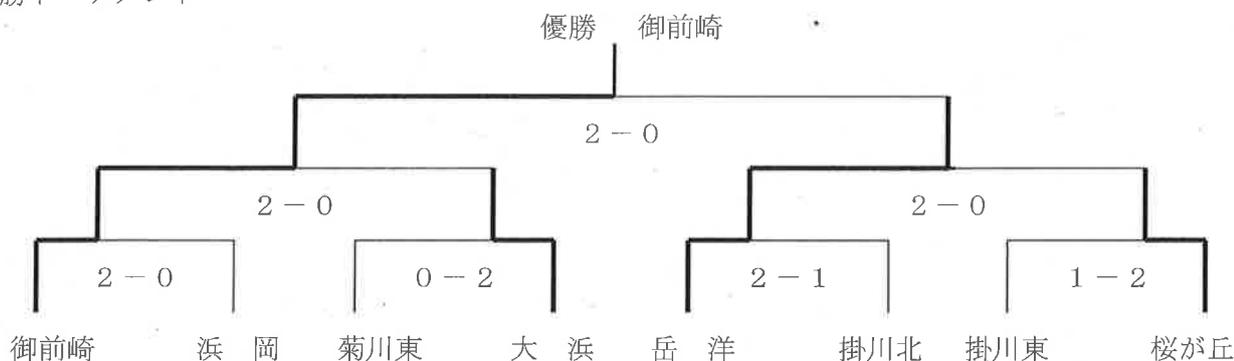
Aリーグ	御前崎	掛川東	城 東
御前崎	-	2 - 1	2 - 0
掛川東	1 - 2	-	2 - 0
城 東	0 - 2	0 - 2	-

Cリーグ	岳 洋	菊川西	菊川東	原野谷
岳 洋	-	2 - 1	2 - 0	2 - 0
菊川西	1 - 2	-	0 - 2	2 - 0
菊川東	0 - 2	2 - 0	-	0 - 2
原野谷	0 - 2	0 - 2	0 - 2	-

Bリーグ	桜が丘	浜 岡	掛川西
桜が丘	-	2 - 0	2 - 0
浜 岡	0 - 2	-	2 - 1
掛川西	0 - 2	1 - 2	-

Dリーグ	掛川北	大 浜	栄 川	大須賀
掛川北	-	0 - 2	2 - 0	2 - 0
大 浜	2 - 0	-	2 - 0	2 - 0
栄 川	0 - 2	0 - 2	-	2 - 0
大須賀	0 - 2	0 - 2	0 - 2	-

## 決勝トーナメント



大会結果      優 勝 御前崎      準優勝 岳 洋      3 位 大 浜、桜が丘

## 大会寸評

掛川市立北中学校 中山 航

本年度の小笠地区は例年以上に大変レベルの高い戦いが繰り広げられた。大会1日目から、熾烈な戦いが繰り広げられた。大会2日目、県大会出場を掛けた岳洋中対桜が丘中では、テンポの早いコンビバレーを展開する桜が丘中に対し、粘り強くボールを拾う岳洋中が対戦した。試合中に岳洋中の選手が肉離れを起こすなど、死闘とも言える試合だった。ケガ人が出ても、チーム力でコンビバレーに対応した岳洋中が県大会出場を獲得した。決勝では、御前崎中が、強烈なサーブを中心に試合を優位に進めた。岳洋中も粘りを見せた部分があったが、それ以上に御前崎中のレシーブ、サーブ、スパイクが効果的であった。

小笠地区を代表して県大会に出場する2チームには、県大会を勝ち抜き、東海大会、全国大会へ進んでもらいたい。その力が十分にある2チームである。

## 優勝作文

学校組合立御前崎中学校 小野田 萌々

「春の選手権大会で、県ベスト4まで勝ち上がった。夏の小笠大会も絶対優勝旗を持ち帰り、県大会で勝ち上がりたい。」私たちはその強い思いをもち、中体連に挑んだ。

最後の大会ということもあり、1日目はとても緊張した。サーブが入らなかったり、セッターとアタッカーのコンビが合わなかったりと、普段通りのプレーができず、焦りを感じた。しかし2日目に入ると、「絶対に勝ちたい、優勝旗を持って帰る。」という全員の気持ちが一つになり、普段通りの「一致団結、笑顔のバレー」ができた。

新人戦、選手権大会、中体連と3つの大きな大会で県大会に出場できた。そして、みんなで勝ち取った優勝旗。応援してくれた後輩、先輩、保護者の皆様、一緒になって大きな声を出して力をくれた先生、どんなに苦しいことも共に乗り越えてきた最高の仲間、みんなありがとう。

# 新人総合体育大会（北部男子）

リーグ戦

	掛川東	掛川北	掛川西	順位
掛川東		2 - 0	2 - 0	1
掛川北	0 - 2		2 - 0	2
掛川西	0 - 2	0 - 2		3

大会結果      優 勝 掛川東      準優勝 掛川北      3 位 掛川西

大会寸評

掛川市立北中学校 加藤 啓太

北部では、掛川市立東中学校が優勝を果たした。掛川東中は、レシーブやサーブが安定して成功し、終始ゲームを有利に進めた。また、攻撃面ではセンターからの力強いスパイクが随所で決まった。準優勝の掛川市立北中学校は、部員7人と少ないながらも声を掛け合い雰囲気を作って全力でプレーすることで相手チームを苦しめた。

どのチームも、自分たちの得意なパターンを確立しており、いかにその展開にもっていくかを考えながらプレーができていた。しかし、サーブレシーブが一度ミスをしてしまうとチームのリズムが崩れ、相手チームから主導権を奪い返すことが困難になってしまっていた。ピンチのときにいかなるプレーをすべきか、流れを再び呼び戻すにはどのようなことが必要か。基礎技術の底上げだけでなく、チームとしての心のもち方も今後の課題として、継続して小笠男子バレー界の各チームがお互いを磨き合い、成長し合っていきたい。

優勝作文

掛川市立東中学校 弓桁 涼真

僕たち東中男子バレー部は、新人戦北部優勝を目標に掲げ、主にレセプション（サーブレシーブ）やサーブを重点的に練習しました。最初はスパイクまでつながらなかったけれど、1・2年生で力を合わせてチーム作りに励みました。大会当日、試合の中で声を出し、練習したことができて北部優勝を果たすことができました。これからもっと個々の力を伸ばし、コンビネーションバレーを練習して県大会に出場して、前回大会で成し得なかった一回戦突破を目指して頑張っていきたいです。

# 新人総合体育大会（北部女子）

## 【予選リーグ】

Aリーグ

桜が丘	2	-	0	掛川西
掛川西	2	-	0	掛川東
桜が丘	2	-	0	掛川東

Bリーグ

栄川	2	-	0	原野谷
掛川北	2	-	0	原野谷
掛川北	2	-	0	栄川

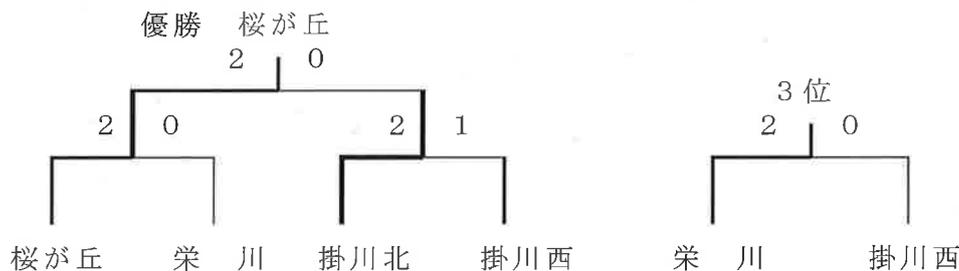
Aブロック順位

1位	桜が丘	2位	掛川西	3位	掛川東
----	-----	----	-----	----	-----

Bブロック順位

1位	掛川北	2位	栄川	3位	原野谷
----	-----	----	----	----	-----

## 【決勝トーナメント】



大会結果 優勝 桜が丘 準優勝 掛川北 3位 栄川、掛川西

## 大会寸評

掛川市立北中学校 中山 航

北部地区では、レベルの高い試合が数多く展開された。準決勝、掛川西中対掛川北中では、1セット目を落とし、あとがなくなった掛川北中だが、2セット目以降は攻撃的なサーブとスパイクでフルセットの末に勝利を収めた。決勝の桜が丘中対掛川北中では、桜が丘中が鋭いサーブと、テンポの早いコンビバレーで掛川北中を圧倒し、優勝を収めた。

大会を終えてみると、順位に関わらずどのチームも今後の成長が楽しみなチームばかりであった。今後、それぞれのチームがお互いを高め合い県大会やそれより上の大会で活躍していてくれることを期待する。

## 優勝作文

掛川市立桜が丘中学校 森澤 世莉

私たち桜が丘中学校バレー部は新人戦の目標として「失セット0の完全優勝」を掲げてきました。夏休みの練習では、体力とジャンプ力の向上に努めました。そのために普段のトレーニングと山トレーニングをみんなで頑張ってきました。プレー面ではサーブレシーブの強化をしました。その練習の成果が大会で発揮できたと思います。他のチームに比べ身長が低いので、コンビバレーを使って速い攻撃で仕掛けていきました。まだ決めきれないときも多いので、大会に合わせて調子を上げていくなど修正していきたいです。最後の中体連までに、ただやるバレーではなく自分たちで考えるバレーをし、目標である「県制覇」の夢を叶えたいです。

# 新人総合体育大会（南部男子）

リーグ戦

	大 浜	菊川西	浜 岡	順位
大 浜		2 - 1	2 - 0	1
菊川西	1 - 2		2 - 0	2
浜 岡	0 - 2	0 - 2		3

大会結果      優 勝 大 浜      準優勝 菊川西      3 位 浜 岡

## 大会寸評

掛川市立北中学校 加藤 啓太

南部では、掛川市立大浜中学校が優勝を果たした。大浜中学校はライトからのサウスポールのダブルエースが攻守に渡りチームを牽引した。本来レフトからの攻撃が主体となるバレーボールにおいて、ライト攻撃は非常に有効な戦略となる。しかし、同時にチームのフォーメーションもセオリーと逆の布陣を敷くことを求められるためチーム作りの難易度は高くなるが、それを見事に克服しチーム作りを進めた。

準優勝の菊川西中学校は夏の大会のメンバーを多く残し、チームの主力メンバーがさらに力を増していた。センターからの強力なスパイクを武器に相手チームを苦しめた。

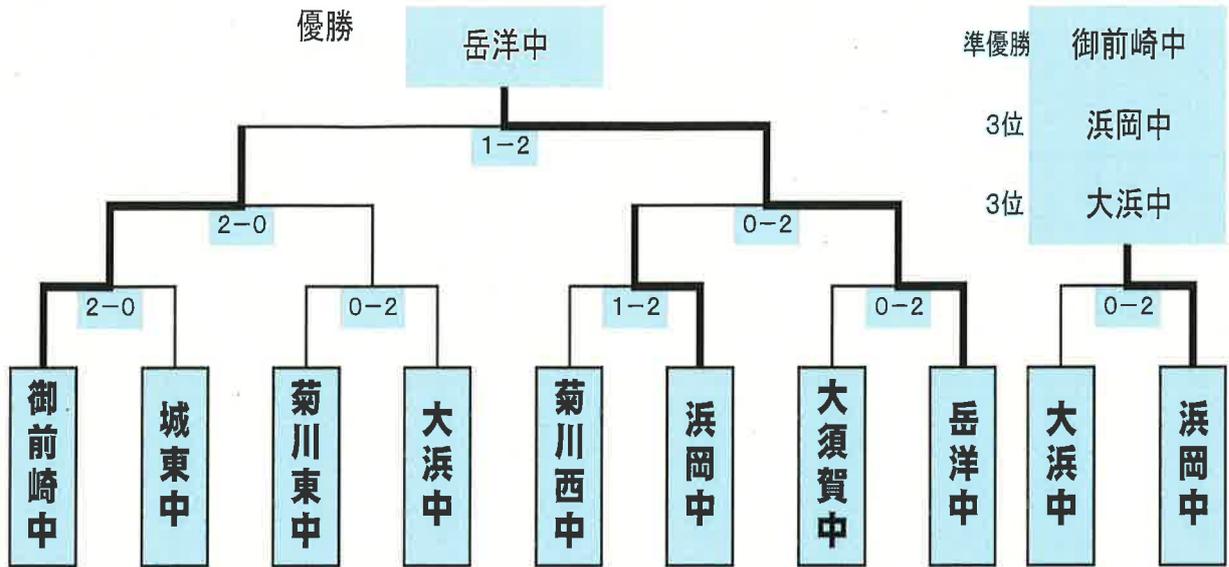
南部は実力が伯仲しており、新人戦でありながら、どの試合も強打の応酬が続く激しいゲーム展開となった。サーブ、サーブレシーブの質も高く、ゲームの主導権を握ることができたチームが最後に一步リードするという僅差の戦いであった。今後は、より高いレベルを目指していくために、つなぎのプレーの質がポイントになる。いかにして攻撃の回数を増やすか、相手に有利にプレーさせないために、自分たちが先制攻撃をしていくことで試合の主導権を握ることができる。どのようなボールでもセッターに安定してボールを供給するレシーブのつなぎ、レシーブが崩れたときの二段トスでのつなぎのプレーを磨いていくことが小笠のバレー全体のレベル向上につながっていくだろう。

## 優勝作文

掛川市立大浜中学校 柴田 樹人

僕たちは新人戦を優勝することができました。優勝するために意識してきたことは2つです。一つ目はコミュニケーションをとることです。技術的に足りないところを声を出して補うことが必要でした。二つ目は基礎基本の定着です。どんな技術も基本があって始めて発揮されるものです。優勝した今、この二つがまだまだ足りていないことを感じています。日頃からバレーに打ち込める環境を作ってくれている方々に感謝の気持ちを持ち、夏の総体に向けて努力していきたいです。

# 新人総合体育大会（南部女子）



大会結果 優勝 岳洋 準優勝 御前崎 3位 浜岡、大浜

## 大会寸評

学校組合立御前崎中学校 酒井 史貴

9月下旬にもかかわらず、体育館内は蒸し暑く感じた。しかし、その暑さに負けないくらい、元気なあいさつやかけ声が聞こえたさわやかな新人戦であった。試合はどのチームもまだまだ荒削りだったが、懸命にボールへ食らいついたり、1本のサーブに気持ちを入れて狙って打ったりする様子も見られた。ラリーが長く続くことが多く、どのチームも粘り強く守っていたように思う。しかし、失点をするとなかなか点を決めることができなく、連続失点を止めることができないう様子が多く見られた。セッターにきれいに返球ができなかったり、コート外へはじいてしまったりとレセプションの乱れによる失点が多かった。レシーブの精度を上げて、セッターから上がったトスを、コースを考えて打ったり、攻めのパターンを増やしたりして、より攻撃力のあるチームになると、さらにレベルの高い試合展開ができると感じた。

## 優勝作文

菊川市立岳洋中学校 鈴木 万尋

私たちは、新人戦に向けて練習してきました。主に試合で重要な、サーブとサーブカットを練習の軸にしています。サーブでは、低く打つことやマークを置いて、狙ってる打つコントロール練習に取り組んでいます。本番でもサーブを効果的に使い、相手を崩すことができ他と思うので、練習してきたことの成果が出ていたと思います。

新人戦で優勝したことでチームにとって大きな一歩が踏み出せたと思います。しかし、まだまだチームには課題がたくさんあります。今回、見つけることができた課題に向き合いながら、夏の大会に向かって頑張っていきたいです。

# 卓 球

## 総合体育大会

### 大会結果

#### 【個人戦】

〈男子〉

優勝 川上想太(掛川東) 準優勝 平本ヒデキ(岳 洋) 3 位 酒井健輔(掛川東)  
4 位 市川駿翔(栄 川) 5 位 杉浦龍神(掛川東) 6 位 田中圭吾(掛川東)

〈女子〉

優勝 鈴木悠雅(大 浜) 準優勝 安間咲稀(大 浜) 3 位 鈴木彩加(大 浜)  
4 位 林 花歩(掛川西) 5 位 山田桃々捺(掛川西) 6 位 戸塚滯里(菊川西)

#### 【団体戦】

〈男子〉

優勝 桜が丘 準優勝 掛川東 3 位 掛川西、菊川西

〈女子〉

優勝 大 浜 準優勝 菊川西 3 位 掛川東、掛川西

### 大会寸評

掛川市立東中学校 加茂 将昭

本年度、卓球の部は、上位大会に合わせ、初日に団体戦、2日目に個人戦を行った。女子は、大浜中が個人戦の1～3位を独占するなど充実した戦力で順当に優勝を果たし、県大会でも躍動し、東海大会出場を決めた。男子は、入賞チーム以外にも優勝を狙うだけの戦力を備えるチームが多かったが、その中でもダブルスとシングルの5本全てで勝負できる戦力を整えた桜が丘中が優勝し、県大会出場となった。

男子個人では、本年度も第1シードが早々に敗れた。優勝した川上以外は、第4シードまでが全てベスト8にも残らず敗退するなど夏の総体の難しさを痛感させられた。

### 優勝作文（男子）

掛川市立桜が丘中学校 望月 俊希

僕たち桜が丘中学校男子卓球部は、「小笠制覇」を目標にして練習をしてきました。僕たちは10ヶ月前に新人戦北部優勝をしたので、僕たちには優勝できる力があると信じて、小笠総体でも優勝したいと強く思っていました。そして今回、小笠総体団体の部で優勝をして、僕たちの目標を達成することができたのです。

1年間を通して、チーム全員が小笠制覇をしようと向上心をもって練習したり、毎回今のチームの課題は何かを考えて練習に取り組んだりしました。それによって、個人の實力は徐々についてきたように思います。しかし、僕たちには大きな弱点がありました。それは、ダブルスです。今まではそのときに合わせてダブルスを組んでいたのですが、ペア同士の信頼関係が築けていなかったり、動きがかみ合わなかったりしました。この問題点を解消するために、ダブルスを固定し、練習の質を高めることにしました。

小笠総体当日では、今まであまり結果を出せていなかったダブルスが、相手に勝つ場面が多くなり、練習の成果が出ていると実感しました。また、普段試合中に声を出さない仲間が点を取るたびに声を出し、それにつられた仲間も声を出し、チーム一丸となって戦い抜くことができました。

この小笠総体を通して、チーム内の絆が深まり、諦めない心の大切さを学びました。

### 優勝作文（女子）

掛川市立大浜中学校 大石 愛夏

中学校最後の大会、入部以来掲げてきた目標は「小笠総体優勝、県大会ベスト8」。今回、私たちはこの目標を大きく上回る東海大会出場を果たしました。ここまで強くなれたのは、顧問の先生方、後輩たち、そして常に支えてくれる家族のおかげです。しかし、一番影響を受けたのは、小笠地区のライバルの存在です。今年の3年生ほどの学校も強く、私たちは何度となく悔し涙を流してきました。その度に練習に熱が入り、少しずつ強くなっていきました。彼女たちの存在がなければ、ここまでいい結果を残せなかったと思います。そして、苦楽をともにした同級生。一生懸命だからこそ対立したこともたくさんありましたが、お互いを信頼していたので高めあうことができました。このように周りの人たちから影響を受け、私たちは心身共に成長したのだと思います。きっと部活をやっていたら気づけなかったことです。私は大浜中卓球部の一員であったことを誇りとして、これからも生活していきたいと思っています。

# 新人総合体育大会

## 大会結果

### 【個人戦】

- 〈南部男子2年〉 ①高塚(御前崎)②川口(岳洋)③小池(岳洋)④山田(岳洋)  
〈南部男子1年〉 ①小杉(御前崎)②松村(菊川西)③若松(大須賀)④北川(岳洋)  
〈南部女子2年〉 ①カドイ(大浜)②名倉(大浜)③田中(菊川西)④福田(大浜)  
〈南部女子1年〉 ①石井(岳洋)②坂井(岳洋)③松下(岳洋)④横山(菊川西)  
〈北部男子2年〉 ①杉浦(掛川東)②柴田(掛川北)③サバシ(掛川北)④二村(桜が丘)  
〈北部男子1年〉 ①花村(掛川西)②山田(掛川西)③吉田(桜が丘)④鈴木(掛川西)  
〈北部女子2年〉 ①藤江(掛川西)②曾根(桜が丘)③萩原(桜が丘)④田林(掛川西)  
〈北部女子1年〉 ①香月(掛川西)②海野(掛川西)③杉原(掛川西)④堀井(掛川西)

### 【団体戦】

- 〈南部男子〉 優勝 御前崎 準優勝 岳洋 3位 菊川西  
〈南部女子〉 優勝 大浜 準優勝 岳洋 3位 菊川西  
〈北部男子〉 優勝 掛川西 準優勝 掛川北 3位 桜が丘  
〈北部女子〉 優勝 掛川西 準優勝 桜が丘 3位 掛川東

## 大会寸評

掛川市立東中学校 加茂 将昭

例年通り、南北男女団体、南北男女学年別個人の計12種目を1日で行うハードスケジュールで大会を行った。各学校の顧問の先生方には、準備からご協力いただき、スムーズな大会運営となった。

本年度の大会では、1年生に小学校での経験者が目立った。中学スタートの選手が部活動だけで、それらの選手と戦うためには相当の練習、チームとしての高め合う雰囲気が必要であると感じた。今の2年には、そうやって順調なレベルアップをしてきた生徒も多く、成長の基礎が十分にできている今の1年を交えて、今後の勢力争いが進んでいくと感じられた。

## 優勝作文（南部男子）

学校組合立御前崎中学校 高塚 陽向

僕たちは「やる気に満ちあふれていて、厳しい練習メニューをこなしている」という、よく描かれるようなチームではありませんでした。僕たちの特徴として言えるのは、他のところに比べて個性があるということです。調子の浮き沈みの激しい選手、スマッシュのチャンスを絶対に外さない選手など、それぞれが個性をもっています。

僕が部長になったとき、練習はなかなかうまくいかず、練習に身が入らない部員もいました。しかし、練習のたびに呼びかけをし、目標を設定することで状況は変わっていきました。少しずつ練習に活気が出てきたのです。新人戦前には、部員全員が集中して部活に取り組み、みんないきいきとプレーしてきました。

新人戦当日はその活気を維持したまま試合に臨みました。団体戦では3対2で勝利した試合が二つあり、チームの活気と団結がぎりぎりの勝利をたぐり寄せたのだと思います。これからも、部員の良い個性を伸ばしていき、前進していきたいと思っています。

## 優勝作文（南部女子）

掛川市立大浜中学校 名波 季里

今年の夏、3年生の先輩方は東海大会出場を果たしました。しかし、私たちは部員も少なく、大会で勝ち進む人もあまりいませんでした。練習試合では相手の応援に圧倒され、悔しさが残ることもありました。新人戦が近づくにつれ、勝たなくてはいけないというプレッシャーを感じていました。

新人戦本番では、これまでの反省から、ひとりひとりが大きな声を出して試合をしました。お互いが仲間を励ますことで、最後まであきらめない、粘りのあるプレーができました。全員が強い気持ちを持ち、仲間と支え合えたからこそ優勝できたと思います。新チームがスタートした時よりも、少しだけ成長できたと思います。これからも目標を高くもつようにして、仲間と力を合わせて練習に取り組むようにしたいと思います。

## 優勝作文（北部男子）

掛川市立西中学校 水野 翼

新チームとなり、どの学校も優勝できるよう練習を重ねてきました。そのため、一点を取ることは簡単ではありませんでした。しかし、団体戦の良いところは「一人ではない」ということです。メンバー一人ひとりが、自分の勝敗がチームに影響してしまうと考えると、集中してプレーをすることができました。団体戦以外のメンバーは応援をすることで、勝ってほしいという強い思いを届けることができます。互いの思いが一つになることで、チームの強さが増してくると感じています。

今のチームは、応援をしていない人がいたり、移動が遅かったりしていて、チームとしてのまとまりが欠けているように思います。仲間のために声を出す、移動を素早くするなど改善をしていき、同じ学校のメンバーとして、全員で優勝を勝ち取ることができるように、日々の練習でお互いを高め合っていきたいです。

## 優勝作文（北部女子）

掛川市立西中学校 藤江 真央

「小笠優勝」この私たちの目標に、この新人戦で一步近づくことができました。

新チームになり、練習が始まりました。意識の低い私たちは、貴重な時間を何度も無駄にしてしまいました。しかし、新人戦が近づくにつれて、自然と全員の気持ちが一つになり、時間を大切にするようになりました。

大会当日は、チームの雰囲気がよく、思っていたほど緊張もせず、試合に臨むことができました。今回優勝できたのは、試合に勝とうという気持ちが一つになったことと、チームとしての団結力が強かったからだと思います。

これからも更なる向上を目指し、団結力を高め、もっと強くなれるように、チーム一丸となって努力していきたいです。

# 柔道

## 総合体育大会

### 大会結果

団体戦（男子） 優勝 浜岡 準優勝 菊川西 3位 大浜

団体戦（女子） 優勝 大浜 準優勝 浜岡

### 個人戦（男子）

50キロ以下級	1位 梅津 龍成（掛川東）	2位 松下 碧登（浜岡）
55キロ級	1位 伊藤 義晃（大浜）	2位 平野 巧（掛川東）
60キロ級	1位 貝塚 立矢（浜岡）	2位 嘉地 蓮（掛川北）
66キロ級	1位 福井 康介（浜岡）	2位 岩倉 匡聡（大浜）
73キロ級	1位 杉浦 崇斗（掛川北）	2位 牧野 航眞（浜岡）
81キロ級	激励賞 瀬古虎太郎（菊川西）	
90キロ級	激励賞 永江 晴陽（菊川西）	
90キロ超級	激励賞 田端 一貴（浜岡）	

### 個人戦（女子）

40キロ級	激励賞 佐藤 舞花（大浜）	
48キロ級	激励賞 後藤 麗（浜岡）	
52キロ級	激励賞 鈴木 風花（大浜）	
57キロ級	激励賞 石原 綾（浜岡）	※各階級1位が県大会出場

### 大会寸評

御前崎市立浜岡中学校 水嶋 志展

本年度夏季大会は、6月30日浜岡中学校格技場で行われた。開場前から選手、保護者の方々が来校し、大会前からこの大会にかける選手や保護者の方々の思いが伝わってくるようだった。柔道経験のある引率者の先生方や各地区道場の先生方のご協力によって計量、試合場準備などスムーズに終え、大会を開催することができた。結果は、部活動設置校である浜岡中が自力を見せ、団体戦男子優勝、個人戦でも男子3名、女子2名を県大会へ送り出す形となった。

試合運営については、各地区審判員の先生方のご尽力により、スムーズに行うことができた。試合終了後、県大会へ向けて小笠地区一丸となって向かうための合同稽古会を行ったが、大いに盛り上がり、気持ちを高めることができたため、今後も開催していきたい。

### 優勝作文

御前崎市立浜岡中学校 貝塚 立矢

今年の浜岡中学校柔道部は、男子団体戦で2年連続優勝県大会出場、個人戦では、男子3名、女子2名が県大会出場することができました。また、男子2名が個人戦準優勝という成績を収めることができました。ここまでの結果が出せたのは練習が厳しくても支えてくれるチームの仲間や僕たちのことを第一に考え、準備や送迎、応援をしてくれた保護者の方々、そして僕たちのモチベーションを上げ、色々な練習メニューを考えてくれた先生の支えがあったからだと思います。ありがとうございました。

# 陸上競技

## 総合体育大会

大会結果	【総合】	優勝	菊川西	準優勝	掛川東	3位	浜岡
	【男子】	優勝	掛川北	準優勝	浜岡	3位	菊川西
	【女子】	優勝	菊川西	準優勝	掛川東	3位	掛川西

## 大会寸評

菊川市立菊川西中学校 小林 大晃

平成30年度小笠地区中学校陸上競技大会は、7月31日にエコパスタジアムで行われました。本大会には、全国、東海大会出場を決めた女子1年100mの木村美結選手（掛川西中）、女子3年100mの山本記子選手（桜が丘中）、東海大会出場を決めた男子3年100mの赤堀眞選手（岳洋中）、男子共通800mの松浦海瑠選手（掛川北中）、女子共通砲丸投の兒玉栞選手（掛川西中）、男子低学年4×100mRの高木大門選手、山田孝喜選手、松浦陸斗選手、西澤梓希選手、宇田要輝選手、山内翔貴選手（菊川西中）と県大会などで活躍した多くの選手が出場しました。また、本大会では女子1年100mで木村美結選手（掛川西中）が13秒03、女子3年100mで山本記子選手（桜が丘中）が12秒59、男子1年1500mで武田悠祐選手（浜岡中）が4分37秒01、男子低学年4×100mRで菊川西中が47秒69と大会記録を破る活躍も見られました。

成績としては、総合の部では、各種目全般的に得点を集めた菊川西中が優勝、女子の活躍が著しかった掛川東中が準優勝、男子の活躍、特に短距離種目で多くの得点を集めた浜岡中が第3位でした。男子の部では、優勝が掛川北中、準優勝が浜岡中、3位が菊川西中でした。女子の部では、優勝が菊川西中、準優勝が掛川東中、3位が掛川西中でした。入賞した3校だけでなく、各学校とも率先して準備や片付けを行い、競技に全力を尽くし、仲間に送られる温かな応援の数々は大変素晴らしいものでした。また、非常に暑い中、競技が行われ、体調面が心配されましたが、最後まで力強く競技に臨みました。

本大会を行うにあたって、当初からの計画が二転三転する場面もありましたが、大きな問題なく、スムーズに進行することができたのは、臨機応変に対応してくださった諸先生方の御尽力と、大会当日にご協力くださった各校の諸先生方や役員の方々のおかげです。先生方や役員の方々には、熱中症対策にも細心の注意を払っていただき感謝しています。ここに記して厚く御礼申し上げます。

## 優勝作文（総合の部・女子の部）

菊川市立菊川西中学校 浅井 昌美

総合優勝四連覇という目標を立ててから、一年たった今年の小笠総体。昨年の新人戦では、総合優勝したものの、心から喜ぶことができなかった悔しい思いを胸に、練習を頑張ってきました。四月になって新一年生が加わり、チームとしての練習がスタートしました。顧問が変わり、状況が変わる中、「慣れない」という言葉に甘え、みんなが本気で練習に取り組んでいるとは言えませんでした。部長として焦りを感じることも多くありました。しかし、大会が近づくにつれ、みんなの気持ちが一つになっていくのを感じることができました。当日、チームのみんなは笑顔でした。私は、あまりベンチに戻ることができなかつたけど、アップの時に色々な人から結果報告を聞いて、これなら四連覇ができると思いました。結果は、男子3位、女子優勝、総合優勝をとることができました。今年の小笠総体は今まで一番楽しむことができました。新人戦でも連覇してほしいです。

## 優勝作文（男子の部）

掛川市立北中学校 松浦 海瑠

僕たち掛川北中学校陸上競技部の今年の目標は、「小笠総体男女総合優勝」でした。昨年の新人戦では、男女ともに総合で3位以内に入ることができず、悔しい思いをしました。新チームになって部員全員で決めた「小笠総体男女総合優勝」という目標ですが、新人戦までは全員が本気で達成しようと考えていなかったかもしれません。しかし、新人戦で悔しい思いをしてからは、本気で目標を達成しようというまとまりができてきました。冬季練習も部員全員で声を出し、励ましながら取り組み、気持ちを一つにして目標に向かった練習ができたと思います。春になり、県リレーカーニバルのマイルリレーで2位に入賞するなど結果として表れると、そのことが自信につながりました。

男女総合優勝という目標は達成できませんでしたが、櫻井先生、戸田先生、原口先生、保護者のみなさん、そして陸上部全員の力でつかんだ男子優勝であったと思います。応援してくださったみなさん、ありがとうございました。

平成30年度 小笠地区中学校陸上競技大会

エコーパスタジアム

2018年7月31日

男子

種目	1位		2位		3位		4位		5位		6位		男子団体得点 男子団体順位
	氏名	年 校 名 記 録	氏名	年 校 名 記 録	氏名	年 校 名 記 録	氏名	年 校 名 記 録	氏名	年 校 名 記 録	氏名	年 校 名 記 録	
1年100m	松本清志郎	1 大須賀 12.94	松井 壺博	1 掛川北 13.11	堀内 緋伍	1 桜が丘 13.18	志藤 健太	1 岳洋 13.26	水野 琉希	1 浜岡 13.29	山田 孝喜	1 秦川西 13.31	4
1年1500m	◎松田悠祐	1 大須賀 4:37.01	榎田 真輝	1 御前崎 4:46.07	井指 隼	1 菊川西 4:46.70	酒井 遼太	1 菊川東 4:54.47	馬込 新成	1 菊川東 4:54.55	中村 匠政	1 桜が丘 4:56.29	1
2年1000m	高木 大門	1 68 4:26.60	小林聖乃進	2 常葉 11.83	西澤 祥希	2 菊川西 11.90	宇田 要輝	2 菊川西 12.18	小田 颯馬	2 菊川西 12.20	村松 香斗	2 掛川西 12.32	5
2年1500m	松本 悠真	2 掛川西 4:26.60	榎田 航生	3 浜岡 4:31.87	秋藤 雅史	2 菊川東 4:32.87	榎田 悠生	2 浜岡 4:32.88	小坂 一輝	2 掛川西 4:36.33	杉山 虹希	2 掛川北 4:42.31	8
3年1000m	赤尾 真	3 岳洋 11.59	片桐 海輝	3 浜岡 11.65	丸尾 祐平	3 浜岡 11.78	岩堀 颯太	3 菊川東 11.91	杉山 颯太	3 掛川北 12.01	中村 夏大	3 掛川東 12.36	2
3年1500m	松浦 海輝	3 掛川北 4:34.87	田安 至悠	3 菊川東 4:36.50	平岡 真真	3 常葉 4:38.56	上野 颯太	3 掛川西 4:42.47	大石 心藏	3 掛川西 4:48.20	東 空翔	3 掛川北 4:53.46	5
共通2000m	赤尾 真	3 岳洋 23.59	岩堀 颯太	3 菊川東 23.95	榎葉 文	3 掛川西 24.48	杉山 颯太	3 掛川北 24.53	中村 夏大	3 掛川東 24.92	小林聖乃進	2 常葉 24.99	4
共通4000m	大石 匠真	3 掛川北 0:54.50	黒澤 勇登	3 掛川東 0:55.19	桑田晴輝	3 掛川北 0:56.12	河原崎友人	3 岳洋 0:56.21	山本竜太郎	3 浜岡 0:58.10	若井 文宏	3 掛川西 0:58.14	1
共通8000m	松浦 海輝	3 掛川北 2:08.30	黒澤 勇登	3 掛川東 2:08.64	大石 匠真	3 掛川北 2:08.67	秋藤 雅史	2 菊川東 2:12.91	坂谷川柳世	2 掛川東 2:17.01	松浦 健翔	2 掛川西 2:20.75	1
共通3000m	田安 至悠	3 菊川東 9:57.32	榎田 航生	2 浜岡 9:58.35	高桑 匠也	2 掛川東 10:23.63	井指 隼	1 菊川西 10:23.72	上野 颯太	3 掛川西 10:31.31	杉山 虹希	2 掛川北 10:42.45	2
共通1000mH	山本 悠真	3 岳洋 16.07	西澤 祥希	2 菊川西 16.35	杉山 木洋	3 掛川東 17.00	山内 聖斗	3 菊川西 17.46	笠川 優大	3 掛川北 17.69	久野 航	2 掛川北 18.87	3
共通4x100mR	◎掛川西	0:47.69	掛川北	0:49.59	浜岡	0:50.83	掛川東	0:51.37	掛川東	0:51.81	掛川西 A	0:51.92	1
共通8x100mR	原野 俊輝	3 掛川東 1m70	大井 拓海	2 掛川東 1m60	宇田 要輝	2 菊川西 1m50	近藤 瓜	3 浜岡 1m45	戸塚博日樹	3 掛川北 1m35	掛川西	0:47.43	3
共通走高跳	原野 俊輝	3 掛川東 1m70	大井 拓海	2 掛川東 1m60	宇田 要輝	2 菊川西 1m50	近藤 瓜	3 浜岡 1m45	戸塚博日樹	3 掛川北 1m35	掛川西	0:47.43	3
共通棒高跳	原野 俊輝	3 掛川東 1m70	大井 拓海	2 掛川東 1m60	宇田 要輝	2 菊川西 1m50	近藤 瓜	3 浜岡 1m45	戸塚博日樹	3 掛川北 1m35	掛川西	0:47.43	3
共通走幅跳	高橋 大門	3 大須賀 5m66	馬淵 真都	3 大須賀 5m55	辻本 智也	3 掛川東 5m43	加藤 豊雄	2 柴川 5m43	竹内 翔	3 菊川東 5m39	鈴木 聖也	3 浜岡 5m37	4
共通砲丸投	高橋 大門	3 掛川東 9m68	名波 大輝	3 浜岡 9m29	戸塚博日樹	3 掛川北 9m11	原川 舞	3 菊川東 9m05	落合 颯也	3 菊川東 9m03	高岡 健人	3 菊川東 8m94	4

◎は大会新記録。○は大会タイ記録

女子

種目	1位		2位		3位		4位		5位		6位		男子団体得点 男子団体順位
	氏名	年 校 名 記 録											
1年100m	◎本村美穂	1 掛川西 13.03	永野 凜	1 掛川北 13.81	齋田 葵実	1 浜岡 13.92	寺田 唯愛	1 大須賀 14.13	松浦 萌冬	1 掛川北 14.31	杉本 若菜	1 掛川北 14.57	11
1年800m	赤尾 華	1 菊川東 2:33.90	羽田 蝶羽	1 大浜 2:34.41	清水 晴南	1 菊川西 2:34.69	栗田 聖花	1 掛川西 2:34.97	川山 晴恵	1 掛川東 2:36.55	平野 楓奈	1 菊川東 2:41.61	3
2年1000m	伊藤 愛	2 菊川西 13.41	句坂 美菜	2 菊川西 13.91	藤原 璃々	2 浜岡 13.96	大村 礼那	2 掛川東 13.99	渡邊 天愛	2 菊川東 14.18	澤人さくら	2 浜岡 14.25	2
3年1000m	◎山本記子	3 桜が丘 12.59	丹羽 花香	3 菊川西 12.65	長内 未斗	3 菊川西 13.60	鈴木 海咲	3 掛川東 13.62	片平 聖海	3 掛川北 13.68	中山 琴夏	3 掛川東 13.89	6
共通2000m	丹羽 花香	3 菊川西 26.82	伊藤 愛	2 菊川西 27.57	長内 未斗	3 菊川東 28.49	榎田 妃咲	3 桜が丘 28.53	渡邊 天愛	2 菊川東 28.00	寺田 唯愛	1 大須賀 28.04	3
共通8000m	沖 千都	3 浜岡 2:28.93	吉田 涼花	3 菊川西 2:31.90	橋本 麻代	3 菊川西 2:33.99	赤堀 光	2 岳洋 2:34.92	齋藤ほのか	2 掛川東 2:38.08	橋本 麗空	2 菊川西 2:40.15	2
共通1500m	片平 聖海	3 掛川北 5:02.91	赤堀 華	1 菊川東 5:09.93	羽田 蝶羽	1 大浜 5:12.94	赤堀 光	2 岳洋 5:13.23	清水 晴南	1 菊川西 5:13.94	橋本 麻代	3 菊川北 5:18.22	4
共通4x100mR	浜岡	0:54.46	掛川東 A	0:55.06	掛川北	0:56.19	掛川東	0:56.71	掛川東	0:58.56	掛川西	0:58.56	3
共通8x100mR	掛川西	0:52.22	新川西	0:52.83	菊川西	0:53.50	掛川北	0:54.02	掛川東	0:54.74	掛川西	0:55.19	6
共通走高跳	松下 由依	2 掛川東 1m65	坂田 莉子	3 掛川西 1m40	浅井 昌美	3 菊川西 1m35	大橋 葵	3 掛川西 1m30	川口 桃菜	2 掛川北 1m30	水野 蒼唯	3 菊川西 1m30	8
共通走幅跳	松村 菜里	3 岳洋 4m69	榎田 葵	3 御前崎 4m65	安藤 優羽	2 城東 4m59	狩野伊留里	1 掛川東 4m44	大石 匠	3 掛川東 4m38	江本 由菜	3 大須賀 4m36	5
共通砲丸投	見玉 菜	3 掛川西 11m64	山下 栞夏	3 掛川東 10m23	荻井 玲奈	3 掛川東 10m05	田中 奏羽	2 掛川東 9m91	八木歩乃花	2 菊川西 9m57	石澤 有紀	3 掛川西 8m56	7

◎は大会新記録。○は大会タイ記録

学校対抗

種目	優勝	準優勝	第3位
男子	掛川市立北中学校	御前崎市立浜岡中学校	菊川市立菊川西中学校
女子	菊川市立菊川西中学校	掛川市立東中学校	掛川市立西中学校
総合	菊川市立菊川西中学校	掛川市立東中学校	御前崎市立浜岡中学校

# バスケットボール

## 総合体育大会（男子）

<予選リーグ>

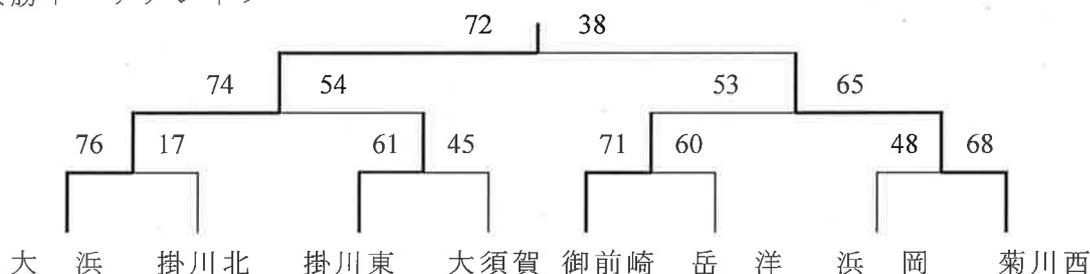
あ	大浜	岳洋	原野谷	順位
大浜		55-43	89-14	1
岳洋	43-55		81-33	2
原野谷	14-89	33-81		3

い	菊川西	掛川北	菊川東	順位
菊川西		51-48	73-35	1
掛川北	48-51		71-42	2
菊川東	35-73	42-71		3

う	御前崎	浜岡	掛川西	順位
御前崎		65-51	73-57	1
浜岡	51-65		58-54	2
掛川西	57-73	54-58		3

え	桜が丘	大須賀	掛川東	城東	順位
桜が丘		48-60	38-62	51-44	3
大須賀	60-48		56-40	67-33	1
掛川東	62-38	40-56		75-46	2
城東	44-51	33-67	46-75		4

<決勝トーナメント>



大会結果 優勝 大浜 準優勝 菊川西 3位 御前崎、掛川東

### 大会寸評

掛川市立北中学校 増田 陽一

予選リーグ、決勝トーナメントともに最後まで勝敗が分からない熱戦が多く、諦めずにボールを追い続けたり、試合後に健闘をたたえ合ったりする選手の姿が印象的な、感動ある大会となった。

決勝戦は前年度優勝校である大浜中と、ここまで数々の接戦を制してきた菊川西中の対戦となった。序盤から大浜中が#4、#5を中心に多彩なオフェンスで順調に得点を重ね、ゲームの主導権を握る。体格で優る菊川西中に対しても確実にボックスアウトをしてリバウンドを制し、セカンドチャンスを与えない。対する菊川西中は#4のドライブ、#8のポストプレイを中心にオフェンスを展開するが、大浜中の厳しいディフェンスを前に、思うように得点することができず、前半を44-13と差がついた状態で折り返す。後半に入り、疲労の色が見えはじめた大浜中がメンバーを交代していく。菊川西中は徐々にリズムを掴み始め、#4、#9のミドルシュート、#7、#8のゴール下でのプレイ等で加点していく。しかし、大浜中は交代でコートに立った選手も連携プレイで力を発揮し、差をつめさせない。終始ゲームを支配し続け、総合力で勝った大浜中が見事に2連覇を達成した。

### 優勝作文

掛川市立大浜中学校 坂田 翔

僕たちは「3年連続県大会出場」「東海大会出場」を目標に掲げ、最高の仲間と大好きなバスケットボールに真剣に取り組んできました。小笠地区では絶対に負けることができないプレッシャーの中、チーム一丸となり、ひとりひとりが成長し、チーム全員で小笠地区優勝をつかみ取ることができ、うれしく思います。地区予選で惜しくも敗れ、涙をのんだ小笠地区の仲間がたくさんいること、その小笠地区の代表として、県大会では一試合一試合を大切に、全力で勝利を目指します。たくさんの方々支え、応援してくれたいことに感謝し、自分たちの最高のプレイで恩返しできるように頑張ります。

# 総合体育大会（女子）

## <予選リーグ>

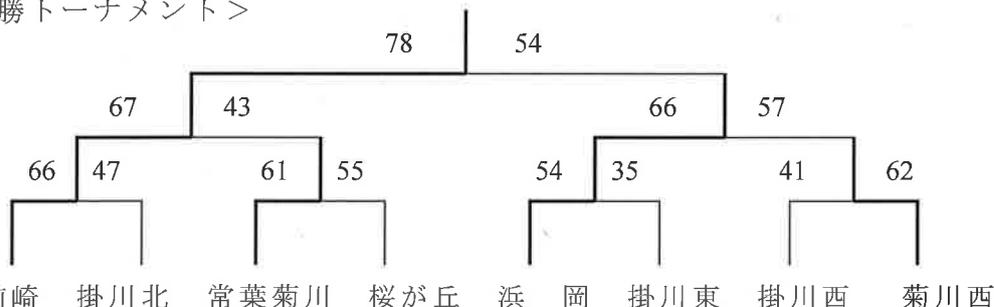
か	御前崎	掛川北	大須賀	順位
御前崎		93-19	104-12	1
掛川北	19-93		49-23	2
大須賀	12-104	23-49		3

き	菊川西	掛川西	岳 洋	順位
菊川西		69-21	84-21	1
掛川西	21-69		58-31	2
岳 洋	21-84	31-58		3

く	浜 岡	大 浜	掛川東	順位
浜 岡		51-26	53-36	1
大 浜	26-51		42-45	3
掛川東	36-53	45-42		2

け	桜が丘	常葉菊川	菊川東	順位
桜が丘		51-46	49-38	1
常葉菊川	46-51		65-35	2
菊川東	38-49	35-65		3

## <決勝トーナメント>



大会結果 優勝 御前崎 準優勝 浜岡 3位 菊川西、常葉菊川

## 大会寸評

掛川市立東中学校 池田 佳将

今大会は、予選リーグで対戦したチーム同士が、すべて決勝トーナメントで顔を合わせるといふ稀に見る組み合わせとなった。特に常葉菊川中は5人しかメンバーがない中、予選リーグで敗れた桜が丘中に雪辱を果たすなど、白熱した戦いが数多く繰り広げられた。決勝戦は予選リーグから圧倒的な力を見せつけた御前崎中と、第2シードの菊川西中を倒して県大会出場を決めた浜岡中との戦いになった。序盤は御前崎中が厳しいディフェンスで浜岡中のオフェンスを封じ込め、積極的なロングシュートで点数を重ねて流れを掴んだ。特に#4の素早いブレイクや#5の精度の高い3Pシュートで浜岡中を突き放し、前半を37-18で折り返した。後半、御前崎中は交代した選手たちが躍動し、試合のペースを渡さない。4Q、浜岡中は#4、#6、#12、の気迫のこもったシュートで粘りを見せるが、終始コートを走り続けた御前崎中が全員攻撃で最後まで試合の主導権を握り、78-54で快勝し、2年連続の優勝を果たした。

## 優勝作文

学校組合立御前崎中学校 若林 莉央

昨年度、先輩がこの大会で初優勝しました。私たちはその歴史を受け継ぎ、小笠地区の頂点を走り続けてきました。その誇りとプレッシャーの中、自分たちのバスケットで二連覇を達成することができました。ここに至るまでに、辛い練習をたくさん乗り越えてきました。そこには、普段から私たちを支え、応援、指導して下さった方々や共に励まし合った仲間が存在がありました。

私たちの目標は「県大会一勝」です。目標を達成させるために、「厳しさ」「意識」「気持ち」「覚悟」の4つを重点に取り組んできました。小笠地区大会の激戦の末、涙をのんだチームの思いを胸に、誇りをもって戦います。そして、いろいろな方への感謝の気持ちを忘れず、自分たちらしく最後まで笑顔で情熱をもって全力でプレーしたいと思います。

## 新人総合体育大会（北部男子）

	掛川東	掛川西	桜が丘	掛川北	原野谷	順位
掛川東		50-42	51-26	62-17	69-15	1
掛川西	42-50		58-37	57-34	64-24	2
桜が丘	26-51	37-58		63-43	91-30	3
掛川北	17-62	34-57	43-63		39-26	4
原野谷	15-69	24-64	30-91	26-39		5

大会結果 優勝 掛川東 準優勝 掛川西 3位 桜が丘

### 大会寸評

掛川市立西中学校 井浪 貴斗

昨年度の一年生大会で優勝した掛川東が、さらに力を伸ばして、今大会を制した。堅いディフェンス、速攻が上手い、コート内を広く使って多彩なオフェンスを展開し、北地区優勝を飾った。どのチームも、経験が浅く、審判の厳しさに慣れないなど、試合中、緊張感やプレッシャーを感じ、ミスが多かった。また、決めるべきシュートを外してしまうこともあったので、個人技術を上げていこうと思います。これから、日々の練習を集中して行い、目標を達成できるようにしたいと思います。支えてくださった先輩方、先生方、保護者の方々に感謝し、恩返しができるようにがんばっていきます。

### 優勝作文

掛川市立東中学校 山本 航

新チームになる初めての公式戦で優勝することができて良かったです。試合の中では自分たちのやる気を出して速攻が上手い、コート内を広く使って多彩なオフェンスを展開し、北地区優勝を飾った。どのチームも、経験が浅く、審判の厳しさに慣れないなど、試合中、緊張感やプレッシャーを感じ、ミスが多かった。また、決めるべきシュートを外してしまうこともあったので、個人技術を上げていこうと思います。これから、日々の練習を集中して行い、目標を達成できるようにしたいと思います。支えてくださった先輩方、先生方、保護者の方々に感謝し、恩返しができるようにがんばっていきます。

## 新人総合体育大会（北部女子）

	掛川東	掛川西	桜が丘	掛川北	順位
掛川東		54-36	51-26	43-18	1
掛川西	36-54		52-22	57-30	2
桜が丘	26-51	22-52		62-30	3
掛川北	18-43	30-57	30-62		4

大会結果 優勝 掛川東 準優勝 掛川西

### 大会寸評

掛川市立西中学校 井浪 貴斗

優勝争いは昨年度の1年生大会において小笠原地区優勝を飾った。どのチームも、経験が浅く、審判の厳しさに慣れないなど、試合中、緊張感やプレッシャーを感じ、ミスが多かった。また、決めるべきシュートを外してしまうこともあったので、個人技術を上げていこうと思います。これから、日々の練習を集中して行い、目標を達成できるようにしたいと思います。支えてくださった先輩方、先生方、保護者の方々に感謝し、恩返しができるようにがんばっていきます。

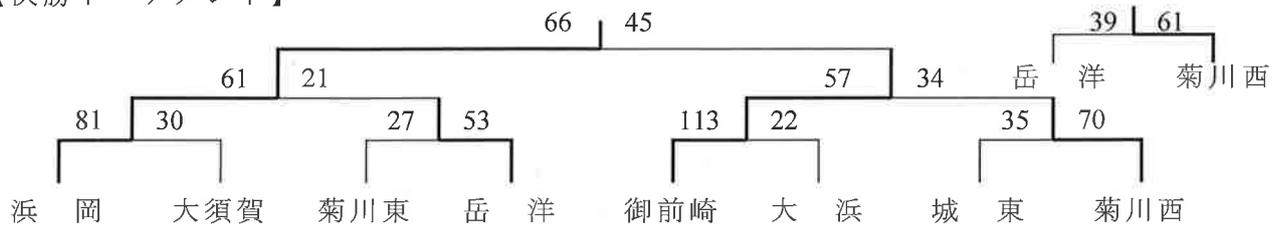
### 優勝作文

掛川市立東中学校 大住 真輝

今回の大会で私達の目標は、全員で声を出し、全員で戦い、優勝することでした。試合では相手に流れをもたせられそうになった場面もありましたが、ベンチとコート全員で声をかけあい、切り替えることができ、夏からの成長を感じることができました。しかし、コート内の雰囲気が悪くなり、プレイが消極的になってしまったり、判断が遅かったりするなど、改善すべき点も見つかりました。この大会を通して見つかった良い点や改善点を、これからの練習に生かしていきたいと思っています。そして、私達を支えて下さった先輩や先生方、保護者の方々に感謝し、恩返しができるよう全力で取り組んでいきます。

## 新人総合体育大会（南部男子）

【決勝トーナメント】



大会結果 優勝 浜岡 準優勝 御前崎 3位 菊川西

大会寸評

菊川市立岳洋中学校 清原 亮

今年の決勝戦は、身体能力を生かした、速攻を得意とする御前崎中と、粘り強い守備と安定感のあるシュートを武器とする浜岡中の対戦となった。序盤は、御前崎中の#4のキレのあるドリブルとシュートで浜岡中をリードする。しかし、対する浜岡中は、焦らずに守りを堅め、#9を中心とした速い展開に持ち込んで流れをつかむと、#4や#5のドライブやアウトサイドシュートも決まり始め、浜岡中がゲームの主導権を握る。後半になっても、浜岡中の勢いは衰えず、最後までリードを保ち、新人戦優勝を飾った。

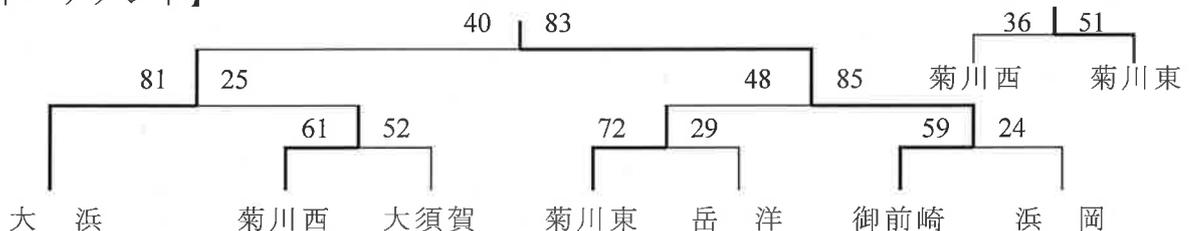
優勝作文

御前崎市立浜岡中学校 鈴木 颯太

新人戦では、ディフェンスから良い流れをつくることができました。私たちは身長が高くないので、スクリーンアウトを徹底し、高身長の手相手からもリバウンドを奪うことができました。しかし、シュートを決めきれず、リズムを悪くする時間帯もあり、課題を残しました。今大会で見つけた課題をチーム全体で改善し、これからの大会に生かしていきたいです。また、家族や先生方への感謝の気持ちを大切に、目標である「県大会ベスト16」が達成できるように日々練習に励んでいきます。

## 新人総合体育大会（南部女子）

【決勝トーナメント】



大会結果 優勝 御前崎 準優勝 大浜 3位 菊川東

大会寸評

掛川市立大浜中学校 横山 龍士

今年の決勝戦は、オールコートマンツーマンを主体にした守備からの速攻で勝ち上がってきた御前崎中と、内外からバランスよく得点を取る攻撃が持ち味の大浜中の対戦となった。

序盤、大浜中は#4を起点とし、#5のポストプレイや#11のドライブで得点を重ねる。対する御前崎中も前線からの厳しいプレスで相手のミス誘い、速い展開から作ったシュートチャンスで確実に得点をのばす。試合中盤になると、御前崎中が大浜中のディフェンスを巧みに崩して生み出したスペースを活用し、リードを広げていった。御前崎中の攻撃の勢いは止まらず、要所で決まる#6のスリーポイントで点差はさらに開いた。着実に得点を重ねた御前崎中が新人戦優勝を飾った。

優勝作文

学校組合立御前崎中学校 辻 稀心

新人戦ではオフェンスは良かったけど、相手の流れになったときにミスを多くしてしまうという課題が見つかりました。優勝という結果は残すことができたけれど、納得のいくプレイではなかったの、少しずつ課題を克服していけるように頑張ります。先輩の目標であった「県大会一勝」を私たちの代で達成できるように日々の練習で努力を重ね、応援してくださる方々に恩返しができるように頑張ります。

# サッカー

## 総合体育大会

予選リーグ

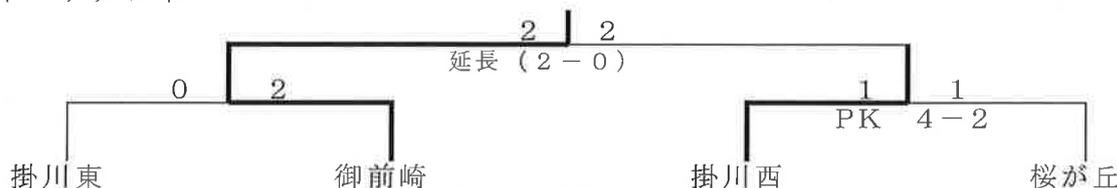
Aグループ

	掛川東	菊川東	浜岡	掛川西
掛川東		○ 2-0	× 0-1	○ 1-0
菊川東	× 0-2		○ 2-0	× 0-1
浜岡	○ 1-0	× 0-2		△ 0-0
掛川西	× 0-1	○ 1-0	△ 0-0	

Bグループ

	菊川西	桜が丘	掛川北	御前崎
菊川西		× 0-4	△ 0-0	△ 1-1
桜が丘	○ 4-0		○ 3-0	○ 4-0
掛川北	△ 0-0	× 0-3		× 0-2
御前崎	△ 1-1	× 0-4	○ 2-0	

決勝トーナメント



大会結果 優勝 御前崎 準優勝 掛川西 3位 桜が丘、掛川東

大会寸評

掛川市立東中学校 桑田 翼

予選リーグAグループは、最終戦までもつれる混戦となった。初戦は敗れたものの、その後2連勝した第1シードの掛川東中が予選1位突破を決めた。予選2位通過は掛川西中。得失点差で浜岡中を上回り決勝T進出をつかみ取った。予選リーグBグループは、第2シードの菊川西中が予選敗退する波乱となった。1位通過を決めたのは、無失点で3戦全勝と圧倒的な力を見せつけた桜が丘中。予選突破をかけた掛川北中との最終戦に勝利した御前崎中が2位通過を決めた。

準決勝は、スピードを生かした縦に速い攻撃を見せた御前崎中、統制のとれた粘り強い守備で桜が丘中の猛攻をしのいだ掛川西中が勝利し、どちらも予選リーグ1位通過のチームが敗れる波乱となった。

決勝戦は、最後まで勝負の行方のわからない試合となった。互いに縦に速いシンプルな攻撃でチャンスをつくった。その中で勝負強さを見せた御前崎中が小笠の頂点に輝いた。

優勝作文

学校組合立御前崎中学校 川口 透磨

僕たちは県大会を目指して日々努力を積み重ねてきた。初戦ではチーム全体が興奮と活気に溢れていたが、裏目に出てしまい完敗した。自分自身は負けたことへの悔しさよりもキャプテンとして何もできなかった自分に対して悔しくてたまらなかった。試合を積み重ね、チームに欠けていた冷静さを自分自身、そしてチーム全体がそれに気づき、いつも通りの力を最大限に発揮し、県大会に進むことができた。保護者の皆様や大勢の応援してくださった方々の支えがあったからこそここまで辿り着けたのだと思う。そして、たくさんの経験をさせていただいたことへの感謝の気持ちで溢れています。本当にありがとうございました。

## 新人総合体育大会（北部）



大会結果 優勝 掛川西 準優勝 桜が丘

### 大会寸評

掛川市立北中学校 萩田 駿

優勝は掛川市立西中学校、準優勝は掛川市立桜が丘中学校であった。前線から激しいプレスをかけ、ボールを奪いに行く桜が丘に対し、掛川西は長短のパスを使い分けながら、グラウンドを広く使いボールを動かして攻撃を組み立てるスタイルで戦った。序盤からサイドを広く使いながら、攻撃に人数をかけてゴールを目指していた掛川西が先制し、その後も勢いが止まることなく、計4ゴールを挙げ勝利を収めた。

掛川西は、選手それぞれの個性を活かしながら、スペースを上手に利用してボールを動かしていた。そのために必要なフィジカル面やボールを止める・蹴るという基本技術にも優れていた。しかし、4校の間にフィジカル面、技術面とも大きな差はなく、試合の中でそれらをベースに特徴・個性を生かすことのできる選手育成を確実に行っていかねばならないと感じた。

### 優勝作文

掛川市立西中学校 大畑 駿介

夏の中体連が終わり、1、2年生が中心のチームになった。人数は27人になった。新チームの目標は「新人戦で北部優勝をして、後の大会で県大会に出場し勝つこと」。

その目標を達成するために、夏休みはボールポゼッション、ディフェンス時のボディーコンタクト、ヘディングに重点をおき必死に練習してきた。戦う身体作りとして、筋力トレーニングも行った。

新人戦当日、新チーム初の大会を迎えた僕たちは独特の雰囲気には困惑していた。練習試合は多く行っていたが初戦は緊張を感じていた。しかし、練習してきたプレーで得点ができ、緊張がとれ、安定した試合運びができた。第二試合、北部決勝戦では、相手のプレッシャー、一が激しく点数が動かない時間が長かった。結果は北部優勝をすることができた。2試合を通して、自分たちは細かな部分でミスをしている所も多く、修正する所が多かった。

新人戦はどのチームもスタート地点である。僕たちの次の目標は「県大会でも勝てるチームになること」。この目標を達成するには、これから今後の大会を通して、大きく成長し、自分たちの目指している試合内容を続けられるチームになることと、個人のスキルとチームの戦略の両方を磨いていくことが必要である。

## 新人総合体育大会（南部）



大会結果 優勝 御前崎 準優勝 菊川東

### 大会寸評

御前崎市立浜岡中学校 中山 慶介

1回戦の菊川東対浜岡の試合では、菊川東、浜岡の両校縦に速いスピードある攻撃を主体とした試合運びから得点を狙う勝負となった。雨の中前線からボールを取りに行く姿勢を見せた菊川東が前半に得点をした。後半には点を取り返そうと前掛かりになった浜岡に対し、裏のスペースを活かした攻めで追加点を入れた菊川東が試合をものにした。菊川西と御前崎は、両チームともパス回しから攻める試合運びとなった。御前崎中学が試合を支配し2点をとり、守り切った。決勝戦は、両チームとも1歩も譲らない戦いだったが縦に攻め続けた菊川東の攻撃を御前崎が防ぎ、御前崎が得点を重ね、優勝した。

今大会を通して、スペースをタイミングよく使えることができるか、そのスペースを有効に使えるかが勝敗を分けた。ボール無いときの動きの向上が求められる。

今後の上位の大会においての小笠地区チームの活躍を期待する。

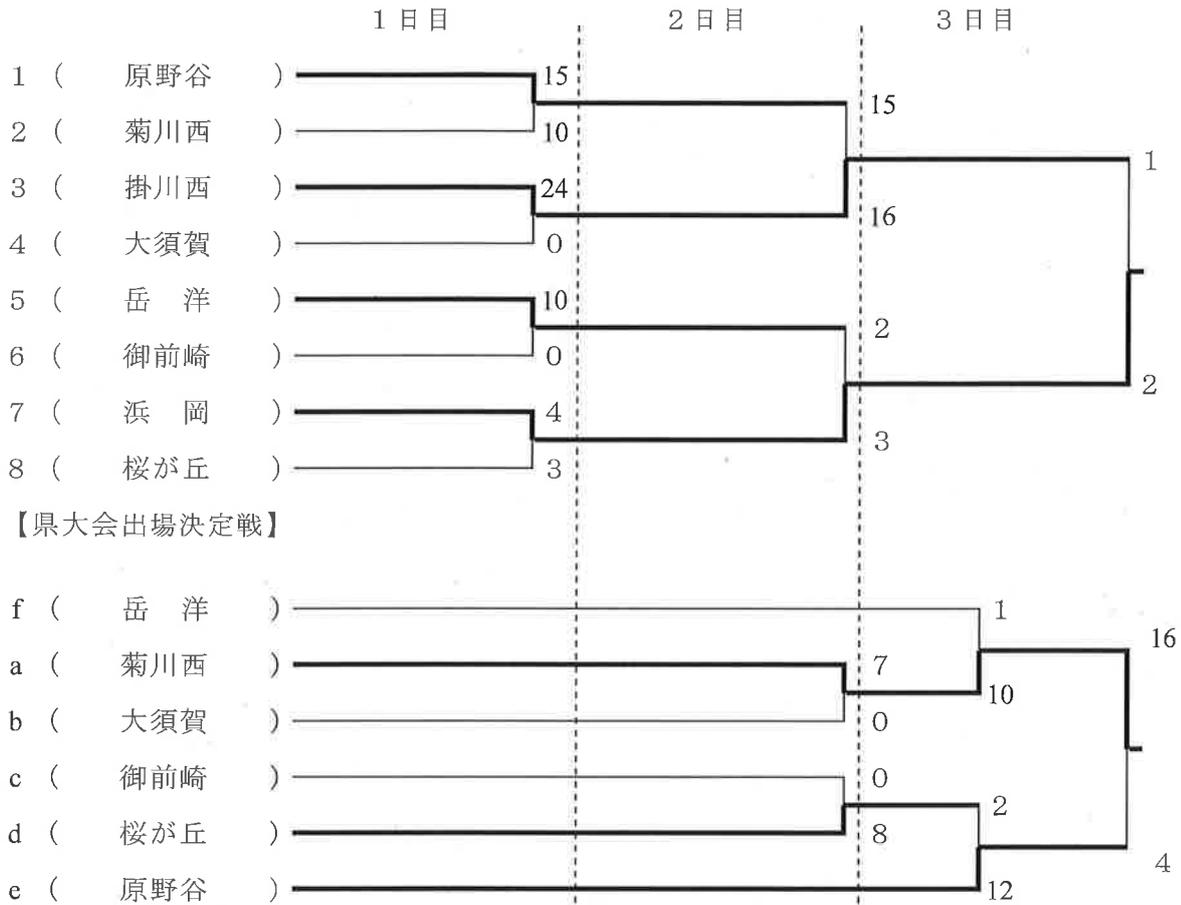
### 優勝作文

学校組合立御前崎中学校 山下 永真

新しいチームになり、初めての公式戦でした。キャプテンという立場は緊張して、いつも通りのプレーができませんでした。シュートを打てば入る所も相手に取られる場面がいくつもあり、頼れるキャプテンとしてはまだまだ遠いと痛感しました。しかし、自分だけでなくチーム全員が全力で戦ってくれたおかげで、無失点で勝利することができました。この新人戦を通して、チームの課題となる部分がたくさんありました。中体連に向けて、チーム全体として、さらに飛躍できるように頑張っていきたいと思います。

# ソフトボール

## 総合体育大会



大会結果 優勝 浜岡 準優勝 掛川西 3位 菊川西、原野谷

### 大会寸評

掛川市立桜が丘中学校 鈴木 峻輔

今大会は、2校のシード校が揃って2回戦で敗退するという波乱の大会となった。優勝した浜岡中学校は、投手を中心に守備でリズムを作り、少ないチャンスをもものにして全ての試合で1点差をもものにした。大会を通して粘り強い戦いを見せてくれた。準優勝した掛川西中学校は、2年生バッテリーが上手に試合を組み立て、乱打戦の末第1シードの原野谷中学校を見事に破った。どのチームも、最後まで元気よくプレーする姿が見られた。

県大会に出場した4校全てが1回戦を突破し、3チームがベスト8、浜岡中学校は準優勝し東海大会出場を果たした。新人戦から大きくレベルアップし、小笠の力が証明された。

来年度の大会でもこのような結果を残すためには、新人戦から少ない部員ではあるが、練習試合や合同練習で高め合い、力をつけていきたい。また、投手力を鍛えていくことも上位大会で勝ち上がるためには必須である。経験が少ない顧問も増えているため、指導力が向上するような取り組みもしていきたい。

### 優勝作文

御前崎市立浜岡中学校 宮本 萌那

私たち浜岡中学校の目標は、先輩たちが成し遂げられなかった「県大会出場」です。先輩たちが引退してから、一年間、県大会出場のために必死で練習しました。練習は辛く、苦しいことばかりでしたが、仲間と励まし合いながら、乗り越えることができました。また、四月には新しく一年生が入部して、共に協力して精一杯、練習に取り組みました。

中体連の初戦は、春の大会で負けたチームでしたが、全員が笑顔で心を一つにして戦った結果、一点差で勝つことができました。次の準決勝、決勝も一点差の厳しい試合展開でしたが、最後まで仲間と支え合ってプレーすることで小笠大会優勝を掴みとることができました。ここまで来られたのは、私たちに指導してくれた先生方、いつも応援してくれた保護者や地域の方々の支えがあったからです。これらも浜岡中ソフトボール部としての誇りをもって歩んでいきます。今までありがとうございました。

## 新人総合体育大会（北部）

<リーグ戦結果>

	1 原野谷	2 掛川西	3 桜が丘	4 掛川東	勝	負	順位
1 原野谷		● 7 - 8	● 3 - 6	○ 9 - 6	1	2	4
2 掛川西	○ 8 - 7		○ 10 - 8	○ 11 - 6	3	0	1
3 桜が丘	○ 6 - 3	● 8 - 10		● 1 - 8	1	2	3
4 掛川東	● 6 - 9	● 6 - 11	○ 8 - 1		1	2	2

大会結果 優勝 掛川西 準優勝 掛川東

### 大会寸評

掛川市立桜が丘中学校 鈴木 峻輔

4チームでリーグ戦を行った。雨で順延もあり、日程も二日間となったが子どもたちのがんばりが際立ち、例年になくレベルの高い大会となった。

優勝した掛川市立西中学校は、バントから長打までを絡めて全ての試合で大量点を取り、僅差の試合も有利に進めていった。他の3チームの結果は1勝2敗と並び、準優勝した掛川市立東中学校と掛川市立桜が丘中学校は、失点率でも並ぶという拮抗した力のぶつかり合いとなった。しかし、新チームになって最初の大会であり、経験不足な部分も見られた。この大会の経験を西部大会に生かしてもらいたい。また、これから先の大会で勝ち進むには、投手力が不可欠である。投手が安心して投げられる環境をチームで声をかけ合い、技と心を磨き上げてもらいたい。

春には、どのチームも積極的に入部への勧誘を行い、来年度の総体、新人総体ともに盛大に開催できるようにしていきたい。

### 優勝作文

掛川市立西中学校 安齋 穂乃実

私たちの目標は、「県大会の決勝に勝ち進む」です。この目標に向かって、「仲間を大切に」「チーム優先」「常に向上心をもつ」「行動を早くする」4つの方針を大切に日々努力してきました。少しずつ練習試合では良い試合ができたことで自信につながりました。しかし、いざ公式戦となると、気持ちの弱さなど様々な課題がでてしまい、普段できることができず焦りから、自分たちで自分たちを苦しめる場面が多くありました。

今大会では、一つのプレーや一点の重み、苦しい場面での声の大切など、たくさんのお話を学びました。得た課題を克服するために、この先も4つの方針を大切にしながら、応援して下さいの皆様への期待に応えられるように、日々の練習に励んでいきます。

## 新人総合体育大会（南部）

### 【リーグ戦】

	1 岳 洋	2 御前崎	3 大須賀	4 浜 岡	5 菊川西	勝	負	順位
1 岳 洋		○11-0	○24-0	○11-1	○6-2	4	0	1
2 御前崎	●0-11		○16-1	○17-9	●1-11	2	2	3
3 大須賀	●0-24	●1-16		○7-6	●0-27	1	3	4
4 浜 岡	●1-11	●9-17	●6-7		●1-21	0	4	5
5 菊川西	●2-6	○11-1	○27-0	○21-1		3	1	2

大会結果 優勝 岳 洋 準優勝 菊川西 3 位 御前崎

### 大会寸評

御前崎市立浜岡中学校 水元 湧士

大会は5チームの総当たり戦で行われた。優勝した岳洋中は、基礎、基本が徹底されていて、鍛えられ安定した守備で確実に打球を処理し、常に主導権を握りながら試合を進めた。また、相手の隙を見逃さない積極的な走塁で、チャンスを広げ大量点を奪い、相手チームを圧倒した。準優勝の菊川西中は、2年生バッテリーを中心に守備から流れをつくり、切れ目のない打線で得点を重ねた。3位の御前崎中は、打者の選球眼がよく、好球必打で高い攻撃力を発揮した。

どのチームも全力でボールを追いかけたり、精一杯声援を送ったりと、一生懸命にソフトボールに取り組む姿が見られた。しかし、投手の制球力、打球の処理、正確な送球、カバーリング、適切な判断をした走塁など、これから改善したい点がある。これから基礎的練習を大切にし、練習試合や合同練習などを通して互いに切磋琢磨して、小笠地区の上位大会での活躍を期待する。

### 優勝作文

菊川市立岳洋中学校 松下 紗季

「頭とハートを使う」これが私たちソフト部の合い言葉でした。私たちの中には、小学校でソフトボールをやっていた人はいません。全員が中学校から始めた初心者です。このメンバーでどうしたら強くなることができるか一生懸命考えました。ただ練習を行うのではなく、常に頭を使いながら「考えて」取り組みました。他のチームが1000球やって上手くなるころを、頭を使って100球で上手くなる。そんな事をみんなで言いながら練習に励みました。また、「ハート」を鍛えるために、ソフトボール以外のことにもこだわりをもって生活をしました。学校を引っ張るリーダーとして積極的に活躍したり、授業中も自分を高めようと必死に取り組みました。そういった努力が今回、「優勝」という形で結果として出たことはすごく嬉しかったです。しかし、まだまだ自分達よりも強いチームはたくさんあるし、自分達よりも頑張っているチームもたくさんあります。どんなチームにもしっかりと勝負できるチームになるためにこれからも頑張っていきます。

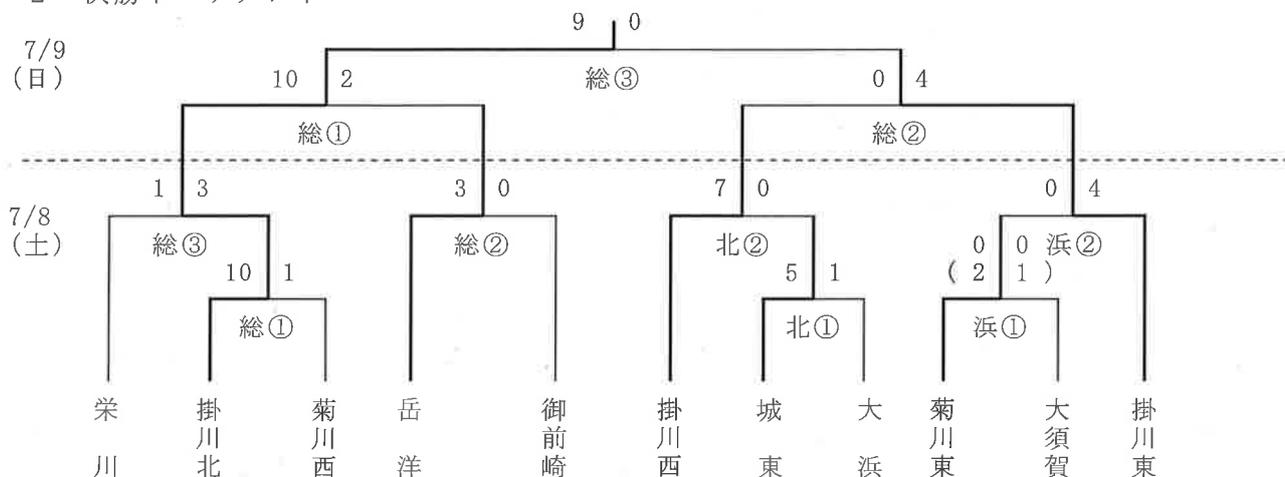
# 軟式野球

## 総合体育大会

1 予選トーナメント・リーグ戦 7/1(日)

グループ	第1試合	第2試合	第3試合	第4試合
A	栄川 5 - 0 浜岡	大浜 7 - 4 岳洋	栄川 13 - 1 大浜	岳洋 8 - 1 浜岡
B	城東 5 - 1 掛川北	掛川東 20 - 1 原野谷	掛川東 2 - 0 城東	掛川北 2 - 0 原野谷
C	掛川西 6 - 1 大須賀	菊川西 22 - 2 常葉菊川	掛川西 3 - 3 菊川西 特別 (4 - 3)	大須賀 10 - 0 常葉菊川
D	御前崎 5 - 2 桜が丘	御前崎 13 - 2 菊川東	菊川東 2 - 0 桜が丘	

2 決勝トーナメント



大会結果 **優勝 掛川北** 準優勝 掛川東 3位 岳洋、掛川西

### 大会寸評

学校組合立御前崎中学校 平野 公一

本大会はどのチームも高いレベルでプレーし、戦力は拮抗していた。県内でもトップクラスの実力が見える地区大会となった。打力の高いチームが多いため、柱となる投手を中心に、いかに失点を少なくするかが勝利への鍵となった。その中でも、優勝した掛川市立北中学校は、2人の投手が抜群の安定感を見せ、1日2試合の日程も物ともせず勝利をつかんだ。攻撃ではどこからでも点が取れる切れ目のない打線で相手チームを圧倒した。準優勝の掛川市立東中学校は、絶対的エースの投球と、春の全国大会出場という各選手の経験が自分たちの流れで試合運ぶことにつながった。全体を通して、攻撃力で拮抗した大会ということもあり、最終的な局面での守備力が勝敗を分けることが多くあった。キャッチボールを基礎とした守備力の大切さを忘れずに各校練習に励んでいきたい。

### 優勝作文

掛川市立北中学校 川上 新太

「一球同心」これは、北中野球部が掲げるテーマだ。練習や試合、どんなときもこの言葉を掲げてきた。しかし、中体連の初戦、城東中に対して、どこかで勝てるだろうと油断していた僕たちは、逆転負けを喫した。次の試合は勝利したものの、課題が残る試合だった。

決勝トーナメントまでの期間、僕たちは話し合い、意地でも4連勝することを心に強く決めた。そこから、3年中心に変化が見られ、チーム全体として4連勝を目指す雰囲気が出てきた。

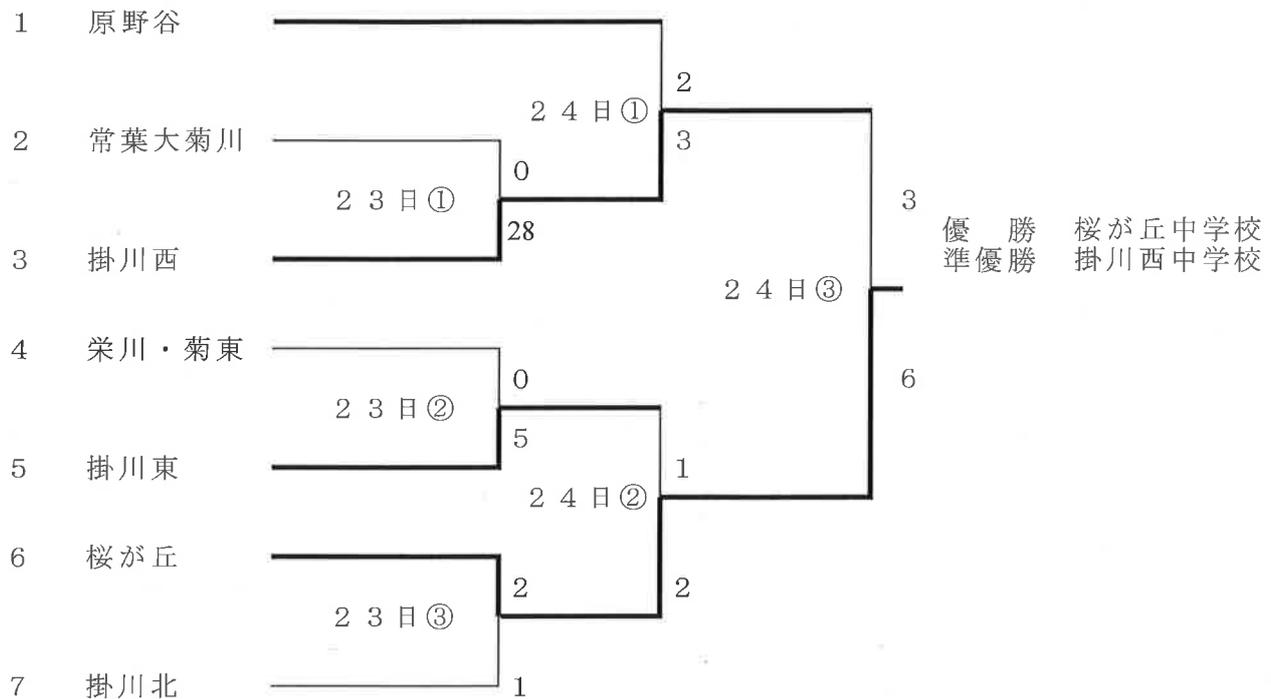
そして迎えた決勝トーナメント。菊川西中戦、栄川中戦ともに厳しい試合だった。しかし、自分たちの野球をしようとチーム一丸となり、勝つことができた。翌日の準決勝の岳洋中戦では、前日の勢いそのままに大量得点で勝利し、県大会出場を決めることができた。

しかし、次の決勝戦の相手は掛川東中。新人戦でも負けた因縁の相手だった。自分たちは、決勝までできたからには必ず優勝するという思いをもち、「一球同心」の言葉通りの試合をして勝つことができた。勝利の瞬間は最高の気持ちだった。

僕はこの中体連で、仲間大切さとチーム全員が一つになればもっている力以上の結果を出せることを知った。「一球同心」このテーマのもと、最高の仲間とともに戦った夏を忘れずに、次のステージに進んでいきたい。

# 新人総合体育大会（北部）

9月23日（日）24日（月）会場：大東総合球場



大会結果 優勝 桜が丘 準優勝 掛川西 3位 掛川東

## 大会寸評

掛川市立栄川中学校 吉田 順平

本大会は実力が拮抗し、どのチームにも優勝のチャンスがある大会であった。決勝戦はそれを象徴するように接戦となった。桜が丘中は好打者平尾君を中心に繋ぐ打線が機能し、掛川西中は豊富な投手陣を軸に安定した守備力を発揮した。接戦の末、桜が丘中が逆転で勝利を収め優勝を果たした。今後、両チームのように、自チームの持ち味を磨いていくことが夏に向けての課題である。

また、今回栄川中と菊川東中が合同チームで大会に出場したように、近年部員不足が叫ばれている中で、桜が丘中と掛川北中では女子生徒がエースや四番打者に座り、チームを引っ張る姿が見られた。女子生徒の加入・活躍も今後注目していきたい。

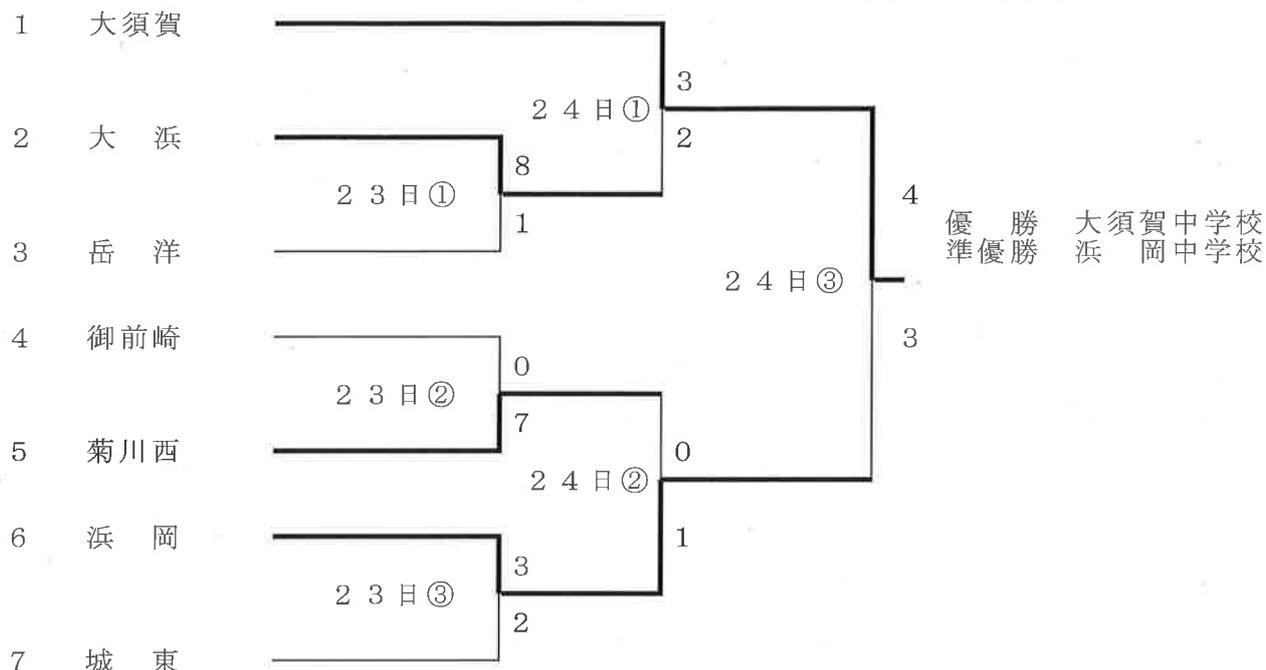
## 優勝作文

掛川市立桜が丘中学校 本村 楓

新チームの短期目標は「新人戦優勝」だった。しかし、シード決めで掛川北中にコールド負け。このままではダメだと全員が感じ、その日から質の高い練習を目指して全員の意識と練習内容を変えた。練習試合では失敗を恐れずに挑戦することを意識して課題に取り組んだ。その成果が練習試合で少しずつ出始めて、いい雰囲気の中新人戦を迎えた。そして、予選でコールド負けした掛川北中に勝つことができ、自信に繋がっていった。準決勝、決勝となかなか点が取れず苦しい展開だったが、みんなで少ないチャンスを得点につなげ、見事優勝することができた。こうした素晴らしい結果を収めることができたのも、お互いに課題を指摘し合ったり、試合後にチームとしての改善点を話し合ったりして全員が野球と真剣に向き合ってきたからだと思う。そして、控え選手のベンチでの雰囲気作りやスタンドから応援してくれた父母、地域の方々の力があってこそだと思う。まだまだ課題はたくさんあるので、この結果に満足せずこれからの大会でも躍動できるように日々の練習に一生懸命取り組んでいきたい。

# 新人総合体育大会（南部）

9月23日（日）24日（月）会場：浜岡球場



大会結果 優勝 大須賀 準優勝 浜岡 3位 大浜、菊川西

## 大会寸評

学校組合立御前崎中学校 平野 公一

優勝した大須賀中は、走攻守の全てにおいて高い力を発揮し、相手チームを圧倒した。特に走塁については、足の早さだけでなく、次の塁を狙う積極性が光り、優勝の大きな要因となった。準優勝の浜岡中は、安定した投手力と丁寧な守備力で失点を抑え、試合を優位に進めた。また、終盤での粘り強さも見せた。どのチームも、新チームが始まり間もない時期ではあるが高い力を発揮し、改めて小笠中学野球のレベルの高さを実感する大会となった。このレベルの高い地区内で互いにしのぎを削ることで、県大会・東海大会・全国大会出場で活躍できるようにしていきたい。

## 優勝作文

掛川市立大須賀中学校 鈴木 涼太

僕たちは、「練習通りのことをやる」ということを意識し、新人戦南部大会に臨みました。先輩方や先生方が教えてくれたことを生かし、新チームになって心掛けた「つなげる打線」や「確実に1つのアウトを取る」といったことを意識したことが優勝につながったと思います。しかし、大会前の練習試合で、マナーの点や試合前の準備や心構えについて、僕たちの課題が浮き彫りになり、試合ができる雰囲気ではありませんでした。まず、普段の生活を見直すべきだと思いました。

初戦の大浜中戦では「つなげる打線」を意識し、下位打線からでも次へつなげる気持ちで打席に立ち、上位打線が打ち返したことが勝利につながったと思います。同点に追いつかれてもあきらめずに戦い抜いたことが良かったです。決勝の浜岡中戦では、とても緊張しましたが「確実に1つのアウトを取る」ことを意識し、守備で流れを引き寄せ、攻撃につなげることができました。そして「一球入魂」を大切にして集中してプレーしたことが、最終回逆転サヨナラを生み出すことができたと思います。

しかし、戦いはこれからです。追われる立場として、まずは手本となる行動を当たり前のように、私生活から意識したいと思います。そして、親や友達、周りの人々に感謝の気持ちを忘れず、これからも大好きな野球に取り組んでいきます。



# 総合体育大会（女子）

## 大会結果

### 団体戦 <予選リーグ>

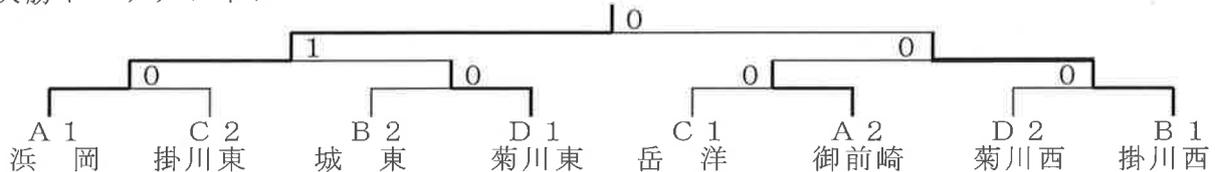
A	浜岡	御前崎	大須賀	順位
浜岡		②	③	1
御前崎	1		③	2
大須賀	0	0		3

B	掛川西	掛川北	城東	順位
掛川西		③	③	1
掛川北	0		1	3
城東	0	②		2

C	掛川東	原野谷	岳洋	順位
掛川東		②	1	2
原野谷	1		1	3
岳洋	②	②		1

D	菊川東	菊川西	桜が丘	順位
菊川東		③	③	1
菊川西	0		③	2
桜が丘	0	0		3

### <決勝トーナメント>



大会結果 優勝 浜岡 準優勝 掛川西 3位 菊川東、御前崎

### 個人戦

優勝	3位	5位	7位	準優勝	4位	6位	8位
平原・長尾	植田・廣岡	橋本・榛村	増田・松本	石原・小川	成瀬・杉本	絹村・近江	浅原・宮内
(浜岡)	(掛川西)	(掛川西)	(浜岡)	(浜岡)	(菊川西)	(菊川東)	(掛川西)

### 大会寸評

掛川市立原野谷中学校 山本 高裕

大会の日は、大雨が降りましたが、選手たちは最後まで試合をやりきりました。試合中、選手たちは一生懸命に戦っていました。試合の結果、浜岡が優勝し、掛川西が準優勝となりました。菊川東と御前崎は3位となりました。大会を通じて、選手たちは多くの経験と学びを得ました。また、選手たちを支えたコーチや保護者の皆様にも感謝申し上げます。

### 優勝作文

御前崎市立浜岡中学校 長尾 星来

私は、この大会を通じて、多くのことを学びました。試合中、選手たちは一生懸命に戦っていました。試合の結果、浜岡が優勝し、掛川西が準優勝となりました。菊川東と御前崎は3位となりました。大会を通じて、選手たちは多くの経験と学びを得ました。また、選手たちを支えたコーチや保護者の皆様にも感謝申し上げます。

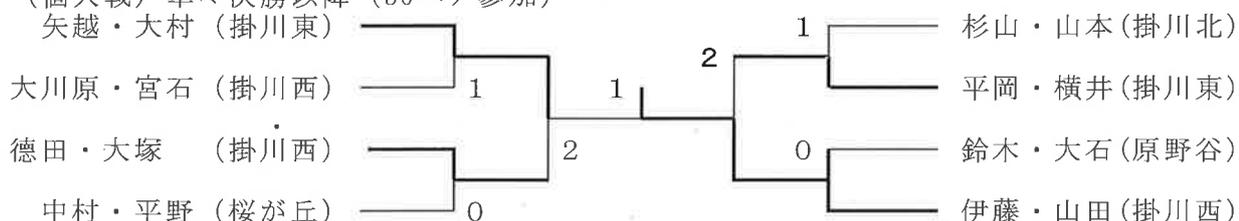
# 新人総合体育大会（北部男子）

（団体戦）

	桜が丘	原野谷	掛川東	掛川北	掛川西	勝	負	順位
桜が丘		②	0	0	0	1	3	4
原野谷	1		1	1	0	0	4	5
掛川東	③	②		②	0	3	1	3
掛川北	③	②	1		②	3	1	2
掛川西	③	③	③	1		3	1	1

## 大会結果 優勝 掛川西 準優勝 掛川北 3位 掛川東

（個人戦） 準々決勝以降（30ペア参加）



優勝	伊藤・山田 (掛川西)	準優勝	矢越・大村 (掛川東)	3位	徳田・大塚 (掛川西)
4位	平岡・横井 (掛川東)	5位	大川原・宮石 (掛川西)	6位	杉山・山本 (掛川北)
7位	中村・平野 (桜が丘)	8位	鈴木・大石 (原野谷)		

## 大会寸評

掛川市立東中学校 曾根 隆央

団体戦当日は、前日の雨が若干残り朝の段階でコートに水が浮いている状態で、更に途中で降雨により試合が中断することがあった。しかし、各校の生徒が迅速にコート整備を行ってくれたおかげで、大きな遅れなく大会を進めることができた。

今大会も選手、応援ともにマナーがよく気持ちよく大会を開催することができた。団体戦では、掛川西中、掛川北中、掛川東中が3勝1敗の三つ巴となったが、獲得ポイントの差で掛川西中が優勝した。

個人戦では、掛川西中が危なげなく勝ち上がり優勝、掛川東中が準優勝した。団体優勝の掛川西中は、ミスを恐れない果敢なプレーで勝ち上がり、1, 3, 5位に入賞した。掛川東中は2, 4位入賞、原野谷中、掛川北中、桜が丘中も意地をみせ、各校1ペアずつ8位入賞を果たした。

全体的な課題点は、精神面であると思われる。ミスが続いたり、失点が続いたりしたときに、ラケットやボールにあたったり、ペア間の雰囲気や崩れたりする選手がいた。今後はテニスの技術だけでなく精神面の成長も必要である。

大会を運営するにあたり、会場のいこいの広場、競技別会長の掛川北中の村松先生、また、救護にあたっていただいた同校の宮城先生、各校の生徒や顧問の先生、保護者の方々の協力の元、大会を無事終了できたことに感謝します。

## 優勝作文

掛川市立西中学校 大川原 隆斗

僕たちは、団体戦で優勝することができた。去年も先輩達が優勝しているため、それを継げるように努力した。日々の練習はもちろん、自主的に夜に練習などをやり、年輩達に追いつけるように練習時間を増やすように努力した。しかし、試合を通して課題はまだたくさん残っている。例えば、試合中に一人一人が声を出すこと、自分たちがポイントを取ったときはチーム全員で喜び合ってベンチを盛り上げることである。今大会で出した課題を改善していくためには、練習中から声を出してチームを盛り上げていくことが必要である。今の練習を振り返ると、はじめは声を出して練習していても、徐々に声が減っていくことが多いので、部員全員で意識を練習していき、チームの練習に取り組む雰囲気を良くしていきたい。また、冬場は練習時間の確保が難しいため、練習開始までの時間を短縮したり、ボール拾いを素早く行うことが大切だと思う。今大会での課題を改善し、夏の大会に向けて練習から変えていきたい。

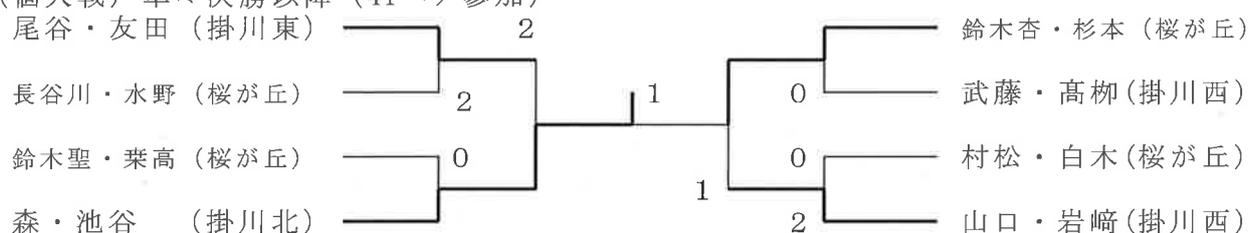
# 新人総合体育大会（北部女子）

（団体戦）

	原野谷	掛川東	掛川西	掛川北	桜が丘	勝ち	負け	得失	順位
原野谷		0	0	0	0	0	4		5
掛川東	③		1	1	1	1	3		4
掛川西	③	②		1	1	2	2		3
掛川北	③	②	②		0	3	1		2
桜が丘	③	②	②	③		4	0		1

大会結果 優勝 桜が丘 準優勝 掛川北 3位 掛川西

（個人戦）準々決勝以降（41ペア参加）



優勝 森・池谷 (掛川北) 準優勝 鈴木杏・杉本 (桜が丘) 3位 尾谷・友田 (掛川東)  
4位 山口・岩崎 (掛川西) 5位 長谷川・水野 (桜が丘) 6位 武藤・高柳 (掛川西)  
7位 鈴木聖・栗高 (桜が丘) 8位 村松・白木 (桜が丘)

## 大会寸評

掛川市立原野谷中学校 山本 高裕

団体戦は悪天候のためコート数を限定しての開催となったが、会場校をはじめ多くの先生方、選手の協力により日程を遅らせることなく行えた。個人戦では一転し、夏を感じさせる日差しが照りつける中での開催となった。団体戦では、桜が丘中学校が全勝で優勝した。個人の力だけでなくチーム全体の勢いを作り出せた学校が頂点を取ることができたように感じる。個人戦でも、団体戦をとった桜が丘中学校が4ペア入賞するなど安定した活躍を見せた。優勝を飾った掛川北中学校の森・池谷ペアは、強力なサービスと広い守備範囲を備えた前衛の池谷さんと、献身的にボールを拾い最後まで前向きに試合に臨んだ森さんのチームワークが光った。後衛力に比べ前衛力に課題を残す例年の傾向を覆す前衛の活躍であった。しかし、今後西部大会や県大会を勝ち抜く上では、まだまだ効果的に展開を組み立てる力を鍛えていかなければならない。その点に成長の余地を感じる試合内容であった。

大会を運営するにあたり、会場準備に協力してくれた各校の生徒、本部運営の桜が丘中学生徒、各校顧問の先生、保護者の方々のお陰で大会を無事終了できたことに感謝します。

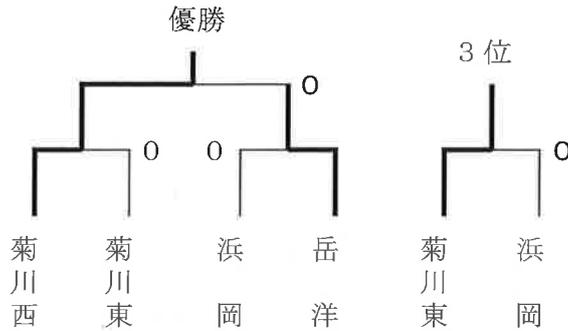
## 優勝作文

掛川市立桜が丘中学校 長谷川 心弓

桜が丘中学校女子ソフトテニス部の新人戦団体戦の目標はベスト4以上でした。優勝した時は信じられないほど嬉しかったです。たくさん活躍してくれた団体戦メンバーももちろんですが、何よりも応援をする部員みんなの声が試合中の選手の支えとなりました。私も大きな声での応援に励まされました。私たちが優勝できたのは、選手のために応援やコート整備をしてくれた1年生・2年生、お忙しい中応援に来てくださった保護者の皆様、試合に勝つためにいろいろ教えていただいた顧問の先生方のおかげです。その感謝の気持ちを忘れずにこの先の大会に向けて練習に努めていきます。また、テニスの技術だけではなく、練習中や試合中の雰囲気、態度など改善しなければならないこともあるので、より良い部活動を部員みんなで作りたいです。

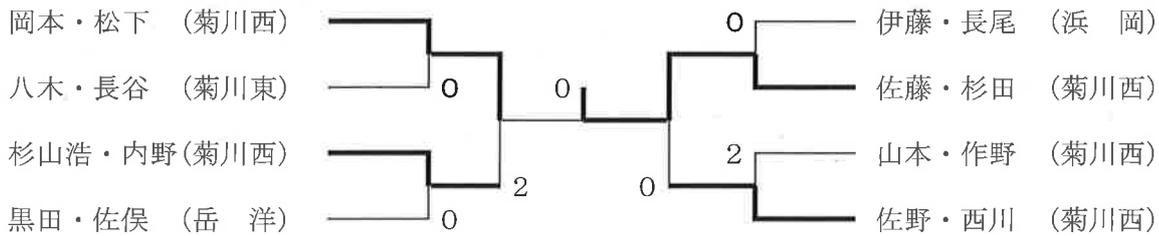
# 新人総合体育大会（南部男子）

（団体戦）



大会結果 優勝 菊川西 準優勝 岳洋 3位 菊川東

（個人戦）準々決勝以降（44ペア参加）



大会結果

優勝 佐藤・杉田（菊川西） 準優勝 岡本・松田（菊川西） 3位 内野・杉山（菊川西）  
 4位 佐野・西川（菊川西） 5位 山本・作野（菊川西） 6位 黒田・佐保（岳洋）  
 7位 伊藤・長尾（浜岡） 8位 八木・長谷（菊川東）

大会寸評

菊川市立菊川東中学校 松下 浩人

夏の県大会で5位となったメンバーの半分が残る菊川西中が、今年の新入戦でも上位を独占した。団体戦では全ての試合で1ゲームも落とすことなく優勝し、個人戦においても5位までを独占し、現時点における圧倒的な力の差を見せた。昨年度から活躍している選手が多い菊川西中に、どれだけ他の学校が追いつくことができるかが、新人戦以降の各校の目標となるだろう。

初めて大会に出場した選手も多かったが、どの試合でもペアで声を掛け合いながら試合を行うことができていた。しかし、やはり試合の中では簡単なミスが目立った。サービスでのミスや、ラリーの中の単純なミスが多く、経験の少ない選手同士の試合では、互いのミスによってデュースやファイナルゲームとなることも多かった。不用意な失点を減らし、更に質の高い試合を目指していきたい。

どの選手も、新人戦の結果を糧として、上位大会を目標に、より一層の研鑽を期待したい。

各校顧問の先生方、会場準備をしてくれた城東中、本部補助の菊川東中の生徒、応援の保護者の皆様の協力でスムーズに運営できたことに心から感謝したい。

優勝作文

菊川市立菊川西中学校 佐藤 遙斗

夏の中体連団体戦、3年生と共に戦う最後の大会。「全国大会」を目標に今まで辛い練習を乗り越えてきた。しかし、みんなの目から涙がこぼれた。3年生を全国大会に連れて行きたかった。本当に悔しかった。

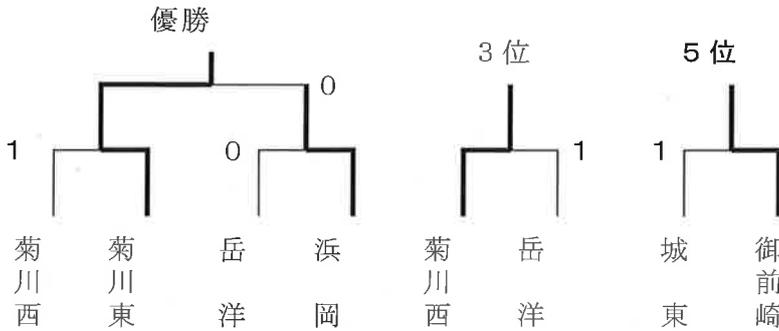
そして、僕たちの代がきた。また一から始めようとチームが一つになり、全国大会を目指し練習が始まった。苦しい時、悔しい時、そんな日々を乗り越え、県優勝を狙えるチームまで成長することができた。

迎えた大会本番。チームで戦った団体戦。応援が僕たちの力になる、仲間の思いが僕たちに力をくれる。そして、チームで勝ち取った優勝カップ。本当にうれしかった。「ありがとう。」

夏の中体連まであと一年。全国大会の道は険しい。ここから僕たちは強くなる。チーム全員で頂点へ。

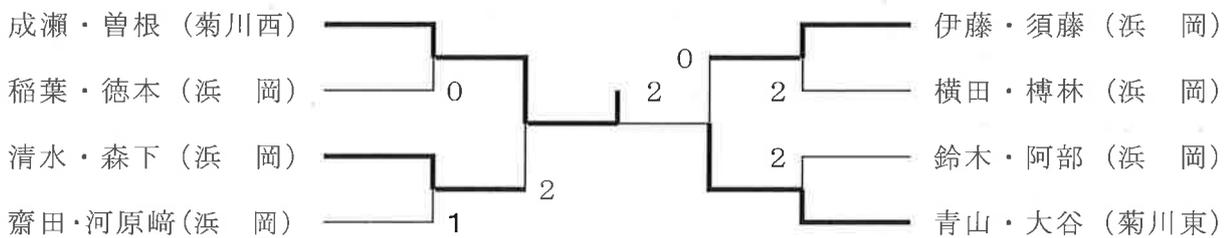
# 新人総合体育大会（南部女子）

（団体戦）



大会結果 優勝 菊川東 準優勝 浜岡 3位 菊川西

（個人戦） 準々決勝以降（44ペア参加）



## 大会結果

優勝 成瀬・曾根（菊川西） 準優勝 青山・大谷（菊川東） 3位 清水・森下（浜岡）  
 4位 伊藤・須藤（浜岡） 5位 鈴木・阿部（浜岡） 6位 稲葉・徳本（浜岡）  
 7位 横田・樽林（浜岡） 8位 齋田・河原崎（浜岡）

## 大会寸評

御前崎市立浜岡中学校 伊達 千尋

今大会は、天候による延期があり、さらに予備日の天候不良が予測されたため、団体戦と個人戦を1日で行うという異例な開催だったが団体戦・個人戦共に、会場校の生徒、先生方、運営の先生方のご協力により、スムーズな運営ができた。団体戦では、予選リーグ2位だった菊川東中が粘り強いデニスを行い、見事優勝した。個人戦では、成瀬・曾根ペア（菊川西中）が、団体戦の雪辱を晴らすべく、得意な中ロブを生かした試合展開で優勝を果たした。準優勝の青山・大谷ペアも最後まであきらめない粘り強いプレーで準優勝となった。全体を通して、選手が試合の進行をよく見て行動するなど、機敏な動きで大会の進行に貢献しており、意識の高さを感じた。一方課題は、ミスをした時の気持ちの切り替えと審判技術である。チームやペアに上手に声を掛け、どの選手も大会で実力が発揮できることを期待する。

大会を運営するにあたり、顧問の先生方、会場準備の菊川西中、本部補助の生徒、保護者の皆様に感謝申し上げます。

## 優勝作文

菊川市立菊川東中学校 青山 凜

私たちは、3年生の先輩が引退し、新人戦での優勝を目指して日々練習を積み重ねた。先輩たちは声が出るのに新チームは声が出なかった。何回も何回も注意されたがチームはまとまらなかった。

こんなチームだったが、新人戦での優勝を目指して大会に臨んだ。チームの力と気持ちを合わせて戦った団体戦は、厳しい試合もたくさんあった。心をひとつにして戦い、念願の優勝カップを手にすることができた。本当にうれしかった。これは、注意されたり叱られたりしたことをバネにチーム一人一人の気持ちが高まったからだと感じた。

私たちは、夏の中体連大会で、もう一度優勝カップを手にすることができるように、頑張っている。これまで以上に集中力を高め、限られた時間を大切にしてチーム一丸となって毎日の練習に取り組み、声を出してよりよいチームへと成長したい。応援してくれている家族やチームメイト、指導していただいている顧問の先生やコーチの大きな期待に応えられるように、部活動に真剣に取り組んでいきます。

# 剣 道

## 総合体育大会

### 男子団体戦

<予選リーグ>

Aリーグ 1位 大須賀

2位 岳 洋

Bリーグ 1位 御前崎

2位 大 浜

<決勝リーグ>

	大須賀	大 浜	岳 洋	御前崎	順位
大須賀		○ 4-1	○ 3-0	○ 4-1	1
大 浜	× 1-4		○ 2-1	× 1-3	3
岳 洋	× 0-3	× 1-2		× 1-2	4
御前崎	× 1-4	○ 3-1	○ 2-1		2

大会結果 優 勝 大須賀 準優勝 御前崎 3 位 大 浜

### 女子団体戦

	浜 岡	岳 洋	菊川東	菊川西	大 浜	順位
浜 岡		○ 3-1	○ 5-0	○ 3-0	○ 3-0	1
岳 洋	× 1-3		○ 3-0	× 2-3	○ 2-1	3
菊川東	× 0-5	× 0-3		× 2-3	× 1-2	5
菊川西	× 0-3	○ 3-2	○ 3-2		○ 3-1	2
大 浜	× 0-3	× 1-2	○ 2-1	× 1-3		4

大会結果 優 勝 浜 岡 準優勝 菊川西 3 位 岳 洋

### 個人戦

大会結果 (男子) 優 勝 林 紘正 (大須賀) 準優勝 雑賀 厚頼 (大 浜)  
3 位 齋藤 洋文 (御前崎) 3 位 早間 良矢 (大須賀)

大会結果 (女子) 優 勝 伊藤 鈴菜 (御前崎) 準優勝 佐藤奈菜子 (岳 洋)  
3 位 鈴木 友理 (岳 洋) 3 位 米本 真帆 (浜 岡)

今大会は、気温 30 度を超える猛暑の中での開催となった。新人戦から各チームがそれぞれに実力をつけ、どのチームが勝ってもおかしくないような熱戦が各試合で見られた。

男子では、昨年の大会や秋の新人戦で活躍した選手を擁する大須賀中が隙のない試合を展開し優勝した。準優勝の御前崎中をはじめ、予選リーグを勝ち進んだ大浜中、岳洋中も見応えのある試合を展開し、決勝リーグはどの試合も大いに盛り上がった。女子は、チーム数の減少により今年度は総当たりのリーグ戦で順位を競うことになった。浜岡中が勝ち上がったが、例年に比べて突出したチームがなく、どのチームも一丸となって一戦一戦に臨み、最後まで力強く戦い抜く姿が印象的であった。

選手個々に目を移すと、団体戦でも個人戦でも、最後の大会にかける想いをぶつける 3 年生の気持ちのこもった試合とキラリと輝く 1、2 年生の活躍が見られた。また、応援する生徒の姿勢やマナー、開閉会式の様子、あいさつや返事の声、1 つの指示で整然と素早く全体で動ける姿など、どの学校もグッドマナー賞にふさわしい態度であった。

### 優勝作文（男子）

掛川市立大須賀中学校 林 紘正

僕たち大須賀中剣道部は、県大会・東海大会出場を目標に日々厳しい稽古に取り組んできました。

この 1 年、僕たちはたくさんの方々から支えられてやっていくことができました。先生方や、先輩方には仕事や勉強で忙しい中、稽古をつけていただきました。そして、保護者の方々には僕たちが全力で取り組める環境を作ってくださいました。そんな支えがあったからこそ、県外遠征などの貴重な経験を積むこともできました。そして、本番の今大会では全ての方々に感謝の気持ちをもって戦いました。

今大会には、正直苦しい試合もありましたが、自分達のやってきたことに自信をもって戦い、優勝することができました。本当に多くの支えがあったからこそ叶えられた優勝だと思います。これからも、さらなる恩返しができるように精進していきます。

### 優勝作文（女子）

御前崎市立浜岡中学校 齋田 和奏

私たちは「繋げる」を大切に、小笠大会優勝・県大会上位入賞を目標として取り組みました。二年半の部活動生活で「感謝することの大切さ」や「人間性を磨くこと」などを学び、これらを基盤として本番に向けて技術面やチーム力の向上を目指しました。小笠大会では、最後まで気持ちを切らず、先鋒から大将まで繋ぐことを意識して自分達らしく戦うことができ、優勝することができました。

これまで色々な経験ができたのは日々指導して下さった先生方や、日頃から応援してくれた家族の支えがあったからです。普段の生活でも、周りの人たちに支えられていることがたくさんあると思います。これからも、感謝する気持ちや人間性を磨くことを忘れずに次に進んでいきたいです。

# 新人総合体育大会

男子団体戦〈7校リーグ戦〉

優勝	大須賀中 6勝
第2位	大浜中 4勝2敗(勝者数14)
第3位	菊川東中 4勝2敗(勝者数12)

女子団体戦〈4校リーグ戦〉

優勝	大浜中 3勝
第2位	菊川西中 2勝1敗

個人戦

大会結果(男子) 優勝 大石 聖也(大須賀) 準優勝 松下 快斗(大浜)  
3位 青野 克海(菊川西) 3位 松井 孔誠(御前崎)

大会結果(女子) 優勝 夏目こはる(大浜) 準優勝 ヒラカンパ・ユカ(菊川西)  
3位 福田波美希(大浜) 3位 岡本 華奈(大浜)

大会寸評

御前崎市立浜岡中学校 大石 英明

男子では、夏の小笠大会で団体・個人ともに実績を残した選手を擁する大須賀中が、安定した戦いぶりで一戦一戦確実に勝ち点を積み上げ優勝した。2位以下は、入賞した大浜中、菊川東中のチーム一丸となった健闘が光った。どのチームが勝ってもおかしくないような試合内容で、白熱した戦いがどの試合でも見られた。

女子は、出場校や参加選手の減少により4校によるリーグ戦となり、チーム全体で「繋ぐ」意識が徹底された大浜中が、各選手それぞれが力を発揮し全勝で優勝した。準優勝した菊川西中の気持ちのこもった試合運びも印象的であった。突出したチームがなく、どのチームも一戦必勝の姿勢で熱戦が繰り広げられた。

全体として、新チームが始まって間もないこともあり、試合所作には課題が見られたが、整然と整列したり、集合や試合場の移動が速やかに行われたりするなど、小笠地区剣道部の良い伝統は受け継がれていた。各チームが心・技・体それぞれに成長し、夏の小笠大会が更に盛り上がるのが期待される。

優勝作文(男子)

掛川市立大須賀中学校 大石 聖也

新チームになり、僕たち大須賀中学校剣道部は4人という1人足りない中でしたが、新人戦連覇を最初の目標にしてチームをスタートしてきました。

3年生が抜けてからも少ない人数でしたが、目標を達成するために厳しい稽古に毎日取り組みました。僕たちに部活のリーダーが代わり最初の1ヶ月はチームが全然まとまりませんでした。しかし、チームのみんなと話し合い、その中で出た反省点を次の稽古にいかせるように意識して取り組みました。すると、稽古を重ねるにつれてチームがまとまっていき、それが今回の結果に結び付いたと思います。

僕たちの次の目標は、羽賀杯です。羽賀杯でも自分たちの最高の剣道をするために稽古に真剣に取り組み、来年度の夏の中体連は今年以上の成績を目指したいと思います。

優勝作文(女子)

掛川市立大浜中学校 夏目 こはる

私たち大浜中学校女子剣道部は、今まで新人戦団体優勝を目指して稽古に励んできました。私たちのチームには、他のチームと比べ、試合で必ず勝ってくる絶対的なエースがいません。そのため、チームで先鋒から大将まで一本を繋がないとなりません。また、私たちは大会での初戦の入りが悪く、何度も先生に注意されていました。

9月22日の新人戦当日、私たちは試合前の稽古から全力で声を出し、チームで一本を繋ぎ、相手に一本も与える事なく、素晴らしい形で団体戦を終えることができました。

このチームで優勝したことに誇りを持ち、先生方や父兄の方々への感謝の気持ちを忘れず、これからも仲間と共に日々精進していきたいと思っています。

# 水 泳

## 総合体育大会

大会結果	【男 子】	優 勝	掛川西	準優勝	掛川東
	【女 子】	優 勝	掛川西	準優勝	掛川東

### 大会寸評

掛川市立西中学校 熊膳 佳美

大雨の中での大会、選手たちにとってよいコンディションではありませんでしたが、各学校のテントからは、自分の学校の選手を応援する声と、個人参加をしている学校の選手を応援する「がんばれ小笠」の声が響く、素晴らしい大会でした。

水泳は、学校またはスイミングで練習をしている生徒たちがいます。自分の泳ぎの技術を向上させ、記録に挑戦する生徒の頑張りは、どこで練習しているかは関係なく、泳いだ後のすがすがしい表情がそれを物語っていました。

今年度は掛川市立東中学校尾崎大輔さんが、男子 100m 平泳ぎで、小笠大会から西部、県とすすみ、東海大会第 8 位という素晴らしい活躍がありました。

最後に、小笠大会を支えてくださった役員の方、ありがとうございました。

### 優勝作文（男子）

掛川市立西中学校 栗平 将吾

大雨の中で開催された小笠大会でした。西中水泳部の目標である男子優勝、女子優勝、総合優勝を果たすことができたのは、部員全員が一つになって、精一杯泳いだり、応援したりできたからだと思います。

昨年の新人戦、男女とも優勝はできましたが、全員で応援すること、仕事をしっかり行うことという点で課題が残りました。新人戦後のミーティングで課題を改善できるように話し合い、そのことを努力してきました。

4月からは1年生が加わり、課題として取り組んできた応援や仕事のことを、2年生が1年生のよい手本となって教えていたことはとてもよかったです。

このように新人戦からこの小笠総体までの期間、課題を改善できるように部員全員で意識し、練習に取り組んできた結果としての総合優勝だったので、新人戦の時の優勝とは感じるものが違いました。優勝した瞬間は、達成感とともに、1、2年生への期待も強く感じました。このような思いが、西中水泳部の伝統なんだと改めて気づきました。

1、2年生のみんなには、まずは新人戦で結果を残し、一人でも多く西部大会に出場してほしいと思うと同時に、伝統には目に見える結果だけではないことも伝えたいです。

3年間に会った多くの顧問の先生方のアドバイスは、私たちにとって心身ともに大きな力となりました。ありがとうございました。

### 優勝作文（女子）

掛川市立西中学校 花村 華音

私たち西中水泳部は、部訓「切り替え・集中・全員が返事・一つ一つの練習を大切に」を意識して練習し、去年の先輩方が達成した「小笠四冠」を目標に努力してきました。後輩のみんな、遠くから熱い応援してくれた先輩のみなさん、顧問の先生方、いつも一番近くで支え、応援してくれた保護者のみなさん。全ての人たちの支えのおかげで、男子優勝、女子優勝、総合優勝という大変うれしい結果を残すことができました。

思い返せば、本当に苦しい練習も数え切れないほどこなしてきました。苦しかった時、私は同級生たちのがんばる姿を見て、あきらめずに最後まで泳ぎ切ることができました。水泳は個人競技です。でも、団体競技の部活動と同じくらい、協力して練習し、絆を深めることができたと思います。水泳部で深めた絆は一生の宝物だと信じています。私たちは結果と同時に、もっと大切なものも手に入れることができました。

今年の小笠大会はあいにくの天候で、プールの水も冷たく、ベストコンディションで泳ぐことはできませんでした。それでも、選手は精一杯泳ぎきることができ、そこには、声がかかるまで応援してくれた多くの部員の思いがあったからです。今まで出場してきた大会の中で最も寒かったけれど、最も温かい大会になったと思います。会場全体を温かさでいっぱいにしてくれた部員のみなさん、小笠の水泳部のみなさん、ありがとうございました。

最後に、後輩のみなさん、これからも西中水泳部の伝統を忘れず、練習や応援に必死にがんばり、すばらしい水泳部をつくりあげてください。応援しています！

平成30年度 小笠地区中学校総合体育大会 水泳競技の部

男子	1位	2位	3位	4位
自由形 50m	東屋 和真 中3 掛川西 28.90	齋藤 一冴 中3 御前崎浜岡 29.97	栗平 将吾 中3 掛川西 31.23	山本 朝日 中2 掛川西 31.59
自由形 100m	齋藤 一冴 中3 御前崎浜岡 01:08.25	山本 朝日 中2 掛川西 01:09.27	清水 省吾 中2 掛川西 01:09.82	杉山 隼哉 中3 掛川東 01:19.06
自由形 200m	大石 広夢 中3 掛川大浜 02:12.80	尾崎竜之介 中3 掛川西 02:38.94	小出 陸翔 中2 掛川東 02:57.33	金田 渚生 中2 掛川西 02:59.63
自由形 400m	大石 広夢 中3 掛川大浜 04:45.11	近藤 幹大 中3 菊川岳洋 04:52.22	尾崎竜之介 中3 掛川西 05:48.98	川下 真矢 中2 掛川西 06:12.34
自由形 1500m	近藤 幹大 中3 菊川岳洋 18:28.48	横山笑夢斗 中2 菊川東 20:47.07	清水 省吾 中2 掛川西 22:40.49	櫻井 秀 中1 掛川東 27:03.70
背泳ぎ 100m	大石 充希 中2 掛川東 01:15.74	宮野 大和 中3 掛川西 01:19.59	大野 将斗 中1 掛川西 01:20.15	大庭 拓真 中2 掛川西 01:24.76
背泳ぎ 200m	大石 充希 中2 掛川東 02:40.76	大野 将斗 中1 掛川西 02:50.23	大庭 拓真 中2 掛川西 02:58.64	岡本 隼 中2 掛川西 03:04.48
平泳ぎ 100m	尾崎 大輔 中3 掛川東 01:16.84	東屋 和真 中3 掛川西 01:24.49	岡本 鷹哉 中2 掛川西 01:26.33	水野 洸成 中3 掛川西 01:29.13
平泳ぎ 200m	尾崎 大輔 中3 掛川東 02:46.99	秋山 泰良 中2 掛川東 03:03.18	岡本 鷹哉 中2 掛川西 03:04.45	福田 隼利 中2 掛川東 03:21.29
バタフライ 100m	福岡 諒大 中3 掛川西 01:17.21	小出 陸翔 中2 掛川東 01:25.83	瀧美 柊威 中3 掛川東 01:34.01	金田 渚生 中2 掛川西 01:36.63
バタフライ 200m	福岡 諒大 中3 掛川西 03:10.12	瀧美 柊威 中3 掛川東 03:46.13	水野 洸成 中3 掛川西 3:55.12	
個人メドレー 200m	松村利久軌 中3 掛川東 02:36.38	栗平 将吾 中3 掛川西 02:51.91	秋山 泰良 中2 掛川東 02:52.86	横山笑夢斗 中2 菊川東 02:59.70
個人メドレー 400m	松村利久軌 中3 掛川東 05:32.72	宮野 大和 中3 掛川西 06:25.37		
FR 400m	掛川東 04:29.00	掛川西 04:30.00		
MR 400m	掛川西 05:08.62	掛川東 05:25.09		

女子	1位	2位	3位	4位
自由形 50m	寺下 凜 中3 掛川東 29.53	栗平 真生 中1 掛川西 29.84	河村 綾音 中3 菊川西 32.51	黒田 はな 中1 菊川東 33.18
自由形 100m	寺下 凜 中3 掛川東 01:03.97	栗平 真生 中1 掛川西 01:06.26	黒田 はな 中1 菊川東 01:10.93	三宅 莉愛 中3 掛川西 01:11.95
自由形 200m	金田 莉緒 中3 掛川西 02:46.06	中野 咲夢 中2 掛川西 02:55.90	佐藤 りん 中2 掛川西 02:59.45	泉 愛莉 中3 掛川東 03:28.25
自由形 400m	谷川 彩楓 中3 掛川北 05:15.71	田代 紗穂 中3 掛川城東 05:58.89	中野 咲夢 中2 掛川西 6:18.72	鶴木ひなの 中1 掛川東 9:15.83
自由形 800m	谷川 彩楓 中3 掛川北 10:45.25	田代 紗穂 中3 掛川城東 12:28.62	瀧美 彩加 中1 掛川東 15:05.06	横井 葉月 中1 掛川東 16:01.41
背泳ぎ 100m	三宅 莉愛 中3 掛川西 01:24.43	鈴木希咲来 中2 掛川東 01:48.64	横井 葉月 中1 掛川東 01:53.94	
背泳ぎ 200m				
平泳ぎ 100m	佐藤 りん 中2 掛川西 01:52.35	鈴木 麻央 中2 掛川西 01:52.44	松浦 莉緒 中2 掛川東 01:54.82	荒井 咲葵 中1 掛川東 02:20.65
平泳ぎ 200m	花村 華音 中3 掛川西 03:20.41	松浦 莉緒 中2 掛川東 03:54.83	鈴木 麻央 中2 掛川西 03:58.09	荒井 咲葵 中1 掛川東 05:12.83
バタフライ 100m	松浦あかり 中2 掛川西 01:14.00	齋藤 和音 中1 御前崎浜岡 01:25.41	泉 愛莉 中3 掛川東 01:47.92	瀧美 彩加 中1 掛川東 2:01.29
バタフライ 200m	松浦あかり 中2 掛川西 02:50.17	齋藤 和音 中1 御前崎浜岡 3:17.21		
個人メドレー 200m	谷川 舞香 中1 掛川北 02:50.69	河村 綾音 中3 菊川西 03:08.14	花村 華音 中3 掛川西 3:08.60	
個人メドレー 400m	谷川 舞香 中1 掛川北 05:55.58			
FR 400m	掛川西 04:51.75	掛川東 06:01.42		
MR 400m	掛川西 05:39.90	掛川東 06:23.45		

学 校	男子合計	男子順位	女子合計	女子順位
掛川東	77	2	55	2
掛川西	102	1	79	1
掛川北	0	7	24	3
岳洋	10	4	0	8
浜岡	10	4	8	4
菊川西	0	7	7	6
菊川東	6	6	5	7
大浜	12	3	0	8
城東	0	7	8	4

総合計	総合順位
132	2
181	1
24	3
10	7
18	4
7	9
11	6
12	5
8	8

# 新人総合体育大会

大会結果	【男子】	優勝	掛川西	準優勝	掛川東
	【女子】	優勝	掛川西	準優勝	掛川東

## 大会寸評

掛川市立西中学校 熊膳 佳美

小雨や雷を気にしながらの大会でしたが、新人選手たちの頑張りど、役員の方の御協力のおかげで、無事に大会を終えることができました。ありがとうございました。

3年生引退後、短い練習期間でしたが、努力してきたことが伝わる、全力を出し切った泳ぎを選手全員ができたと感じました。自己ベストの更新や初めての入賞に顔をほころばせる選手たち、同じ種目に挑戦する他校の選手と交流をする選手たち、自校はもちろん他校の選手にも温かい声援を送る選手たち、小笠地区みんなで頑張っていこうという雰囲気の大大会でした。

今後の部活動では、個人が育つ集団になるという意識で、集団の力が高まる部活動を目指し、夏の活躍につなげてほしいです。

## 優勝作文（男子）

掛川市立西中学校 岡本 隼

3年生が引退し、2年生が中心となり新体制で臨む最初の大会、新人戦。僕は、部長としてしっかり部員を引っ張っていけるのか、自分の種目に集中できるのか、先輩たちがつないできた男子優勝・女子優勝・総合優勝の達成ができるのか、今までに味わったことのない不安と緊張でいっぱいでした。

そして迎えた大会当日、選手全員が全力で泳ぎ、ベストタイム更新や上位入賞などの、とてもよい結果を残すことができました。そして、部の目標である男子優勝・女子優勝・総合優勝を達成できました。表彰式でトロフィーを受け取ったときは、とてもうれしかったです。

しかし、これで終わりではありません。部全体としての課題も見つかりました。練習でも大会でも、気配りや目配りがもっとできるようになること、応援のレベルを上げることです。来年夏の中体連に向けて、部全体でレベルアップできるよう、オフシーズンの練習に全力で取り組み、悔いのない最高の夏にできるようがんばっていきたくです。

## 優勝作文（女子）

掛川市立西中学校 松浦 あかり

今年の新人戦は、去年とは違い、私たち2年生が部活を引っ張っていく立場になって初めての大会でした。これまで頼りにしてきた3年生が引退してしまい、正直私は大会前不安でいっぱいでした。

しかし、2年生の仲間と話し合い、助け合いながら、不安を少しずつ減らしていくことができ良かったと思いました。私は副部長になったので、部長を支え、部員が困っているときは、全力で力になりたいと思っていました。

大会当日は、部員全員が力を出し切り、最後まで泳ぐことができたと思います。

競技以外でも、1年生中心に、雨の中、駐車場係として保護者の方を誘導し、大会に貢献していました。

また、水泳は個人で参加する選手もいるので、西中以外の学校の選手が泳いでいるときも最後壁をタッチするまで応援することもできました。

このように、部員全員が、競技や自分に任された仕事に責任を持って行動できたからこそ、男女ともに優勝、総合優勝できたんだと思いました。このような結果が出せたのは、夏の練習を各自が目標を持って取り組んだこと、競技以外のあいさつや行動でも努力してきたことの成果だと思います。

これからは、来年夏の中体連で、小笠4冠がとれるよう、悔いの残らない最高の結果の大会にするために、冬の走り込みなどの陸上トレーニングで、部員がくじけそうになったときは励まし合いながら、部員全員が一丸となって頑張っていきます。

平成30年度 小笠地区中学校新人総合体育大会 水泳競技の部

男子	1位	2位	3位	4位
自由形 50m	山本 朝日 中2 掛川西 30.88	森下 敢太 中2 掛川東 31.94	松下航太郎 中2 菊川岳洋 32.44	岡本 隼 中2 掛川西 32.74
自由形 100m	山本 朝日 中2 掛川西 01:08.26	森下 敢太 中2 掛川東 01:14.20	濱口 慧太 中1 掛川西 01:21.97	松下航太郎 中2 菊川岳洋 01:22.98
自由形 200m	清水 省吾 中2 掛川西 02:32.13	小出 陸翔 中2 掛川東 02:53.32	金田 蒼生 中1 掛川西 02:56.32	増井 優斗 中1 掛川西 03:12.52
自由形 400m	横山笑夢斗 中2 菊川東 05:06.89	清水 省吾 中2 掛川西 05:31.56	川下 真矢 中2 掛川西 05:53.46	松本 拓也 中2 掛川西 06:30.40
自由形 800m	横山笑夢斗 中2 菊川東 10:28.79	宮本 シンド 中1 掛川西 12:57.76	増井 優斗 中1 掛川西 13:02.03	落合 春貴 中1 掛川西 13:02.40
背泳ぎ 100m	大石 充希 中2 掛川東 01:14.79	大野 将斗 中1 掛川西 01:18.44	大庭 拓真 中2 掛川西 01:24.45	赤堀 悠太 中2 掛川東 01:44.38
背泳ぎ 200m	大石 充希 中2 掛川東 02:39.80	大野 将斗 中1 掛川西 02:47.66	大庭 拓真 中2 掛川西 02:58.91	
平泳ぎ 100m	岡本 鷹哉 中2 掛川西 01:21.73	福田 隼利 中2 掛川東 01:22.25	梅津 龍成 中1 掛川東 01:38.76	小野田昇祐 中1 掛川西 01:42.70
平泳ぎ 200m	岡本 鷹哉 中2 掛川西 02:54.93	秋山 泰良 中2 掛川東 02:55.75	福田 隼利 中2 掛川東 03:02.32	三木 琢叶 中1 掛川西 03:19.57
バタフライ 100m	小出 陸翔 中2 掛川東 01:19.34	金田 渚生 中2 掛川西 01:31.29	田宮 逸光 中1 掛川東 01:36.76	松本 拓也 中2 掛川西 01:46.59
バタフライ 200m	金田 渚生 中2 掛川西 03:37.35	鈴木 琢真 中1 掛川西 03:37.48	山田 直樹 中1 掛川西 03:40.31	
個人メドレー 200m	秋山 泰良 中2 掛川東 02:45.01	岡本 隼 中2 掛川西 02:59.61	齋藤 耕輔 中2 掛川西 03:02.94	山田 直樹 中1 掛川西 03:25.47
個人メドレー 400m	齋藤 耕輔 中2 掛川西 06:34.01			
FR 400m	掛川西 04:27.60	掛川東 04:41.10		
MR 400m	掛川東 05:00.89	掛川西 05:19.83		

女子	1位	2位	3位	4位
自由形 50m	栗平 真生 中1 掛川西 30.26	松浦 真緒 中1 掛川東 49.81		
自由形 100m	栗平 真生 中1 掛川西 01:05.62	鶴木ひなの 中1 掛川東 01:33.05	鶴木 祐里 中2 掛川東 01:43.64	大石 步那 中1 掛川西 01:43.97
自由形 200m	中野 咲夢 中2 掛川西 02:55.44	佐藤 りん 中2 掛川西 02:56.56		
自由形 400m	黒田 はな 中1 菊川東 05:32.32	中野 咲夢 中2 掛川西 06:51.55	鶴木 祐里 中2 掛川東 08:24.32	
自由形 800m	黒田 はな 中1 菊川東 11:27.22	瀨美 彩加 中1 掛川東 15:02.46	鶴木ひなの 中1 掛川東 15:17.81	
背泳ぎ 100m	横井 菜月 中1 掛川東 01:35.81	鈴木 麻央 中2 掛川西 01:39.87	鈴木希咲菜 中2 掛川東 01:40.83	
背泳ぎ 200m	鈴木希咲菜 中2 掛川東 03:34.58	横井 菜月 中1 掛川東 03:37.09		
平泳ぎ 100m	松浦 莉緒 中2 掛川東 01:50.42	鈴木 麻央 中2 掛川西 01:58.47	荒井 咲葵 中1 掛川東 02:04.45	大石 步那 中1 掛川西 02:04.58
平泳ぎ 200m	松浦 莉緒 中2 掛川東 03:50.26	佐藤 りん 中2 掛川西 03:57.83	原田愛衣理 中1 掛川西 04:37.03	荒井 咲葵 中1 掛川東 04:38.79
バタフライ 100m	松浦あかり 中2 掛川西 01:16.02	齋藤 和音 中1 御前崎浜岡 01:16.87	瀨美 彩加 中1 掛川東 01:52.66	
バタフライ 200m	松浦あかり 中2 掛川西 02:50.28	齋藤 和音 中1 御前崎浜岡 03:02.28		
個人メドレー 200m	谷川 舞香 中1 掛川北 02:46.56			
個人メドレー 400m	谷川 舞香 中1 掛川北 05:42.49			
FR 400m	掛川西 05:05.25	掛川東 06:46.18		
MR 400m	掛川西 05:49.88	掛川東 06:52.43		

学 校	男子合計	男子順位	女子合計	女子順位
掛川東	71	2	66	2
掛川西	124	1	69	1
掛川北			12	3
岳洋	5	4		
浜岡			8	5
菊川西	0	5		
菊川東	12	3	12	3

総合計	総合順位
137	2
193	1
12	4
5	6
8	5
0	7
24	3





